

## 第52回（2017年度）全国壮年大会で楽しく学び、語り合ひましょう

全国壮年会連合会長 大城戸一彦

尊い主のみ名を崇めます。

今夏の全国壮年大会は、第46回(2011年)以来6年ぶりに天城山荘をお借りして開催させていただく運びとなりました。

今総会は北関東地方連合壮年会による実行委員会の運営のもとで、2泊3日のプログラムが組まれています。この大会の開催のために、労を取ってくださいます北関東地方連合壮年会の皆様には厚くお礼を申し上げます。また、会場の提供と、多くの便宜を図っていただいております天城山荘のスタッフの方々に、お礼を申し上げます。

全国教会・伝道所にある壮年の皆様には、今夏の全国壮年大会が祝福のうちに迎えられるよう、祈りを合わせておられることと思います。

天城山荘の充実した設備と環境の中で、皆様にお目にかかり、壮年の課題を共有する中で、お互いに主に仕える道が示されますことを願っております。

今大会は、主題を「キリストにしたがう わたしは かわる」とし、「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。」(ローマの信徒への手紙 14章 11節)を主題聖句に、加藤誠牧師(大井教会)が主題講演を担ってくださいます。

今大会では、その主題講演を受けての恵みの分かちあいをはじめ、いろいろなフェイズでの「懇親と交流・分かち合い」の時間が設けられています。1年ぶり、あるいは数年ぶりにお会いする壮年の方々と、旧交を温めながら、恵みの分かち合いと「啓発、の時を楽しく過ごされますよう願っています。そのプログラムのひとつとして、全国壮年会連合は、各地方連合壮年会長と奨学金委員長のご協力のもとで、総会終了後に、次のテーマを共有する時間を設けさせていただきました。

- A 献身者を生み出す教会
- B 新任牧師と協働する教会
- C 全国大会の開催方法(壮年大会をデザインする)
- D 奨学金制度の充実
- E 「神学校献金(神学生奨学金献金)」の推進

意見交換を通して、ご自身の課題として、ぜひ教会にお持ち帰りいただきたくお願い申し上げます。

「全国壮年会連合」は、1978年の第13回全国壮年大会において、「各教会壮年会等が相互の啓発をはかり、交流親睦を深めると共に伝道活動を積極的に協力し合う」ことを目的として組織され発足致しましたが、40年目を迎える本年は、諸先輩方が築いてこられた「教会形成を担う」と「伝道者養成の業に参与する」ことを、具体的に自分自身の課題として共有していただくことを願っています。

これから暑さも本番を迎えます。

皆様にはご自愛くださり、8月24日(木)～26日(土)の「第52回全国壮年大会 in 天城」でお目にかかれることを楽しみにしております。

主にありて

— 天城でお会いしましょう —

## 「 歓迎 の 言 葉 」

第 52 回全国壮年大会実行委員会  
実行委員長 石井 努  
(太田キリスト教会)

主のみ名を賛美いたします。

主の豊かな祝福と祈り、全国の教会・伝道所の祈りに支えられ、「第 52 回全国壮年大会 in 天城」が開催出来ますことを感謝いたします。北関東地方連合の諸教会・伝道所、地方連合壮年会、実行委員会を代表して、歓迎の言葉を申し上げます。

### 主題 「キリストに したがう わたしは かわる」

「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。」ローマ 14 : 11

わたしたち全国壮年会連合は、これまで「神学生支援・伝道者養成・教会形成を担う」を念頭に歩みを進めて来ました。第 52 回大会も、この目標を念頭に進めていきたいと考えています。主題聖句でパウロは、すべての人は主の前に膝を折り主をほめたたえる存在であると、イザヤの言葉を引用しすべての人が神の御愛の中にいる家族であることを示唆しております。わたしたち壮年は主をほめたたえる家族であります。主の愛を伝える口であり足であります。まずは、わたし自身を献身者としてささげ、共に歩む伝道者を支えていくそんな思いを新たにしたいと願うのです。

このような思いを胸に、わたしたち北関東地方連合壮年会は大会実行委員会・会議を重ね、第 52 回全国壮年大会の準備を進めてきました。今年は皆さまにもなじみの深い天城山荘を会場に 2 泊 3 日の日程で開催いたします。3 日間のプログラムの中、壮年以外の参加者様にも楽しんでいただけるようにバラエティータイムとして、天城峠の散策や魚釣り、そして世界遺産にも登録された葦山反射炉の見学などを計画しております。

主題「キリストに したがう わたしは かわる」に基づき講演を、加藤誠牧師（大井バプテスト教会牧師、日本バプテスト連盟・前常務理事）をお願いいたしました。先生のお話しに耳を傾けて、私たちの信仰の立ちどころを思い、分かち合いの時を持ちます。また、教会にある壮年として実践する活動のあり方を「献身者を生み出す教会」「新任牧師と協働する教会」「全国大会の開催方法」「奨学金制度の充実」など、より具体的に語りましょう。二日目の夜に計画しています神学校と賛美の夕べは、神学生と私たちの楽しく有意義なひと時となると確信しています。

神はわたしたち一人一人を愛してくださって、それぞれに賜物を与えてくださいました。お互いを尊重し合い生かし合うことで教会形成を成してきたように、全国の壮年が共に手を取り、信仰の絆を紡ぎ出す機会となることを祈っております。

どうぞ、どなたでもご参加ください。天城でお待ち致しております。主に在りて

# 行け 主のしもべ!

2017年 全国壮年大会テーマソング

石井努

山中臨在

F B<sup>b</sup> G7/B C

聞 け ぜ ん こ く の 主 の し も べ よ あ  
 行 け ぜ ん こ く の 主 の し も べ よ と  
 や ま た に を 行 き う た う こ え に イ

F Dm Gm7 C7 F

ら の に み ち を と と 一 の え よ す  
 も に て を と り あ し お と 立 て め  
 ス は さ き だ ち み 手 を そ え て あ

B<sup>b</sup> F C F

く い の 知 ら せ 告 げ ら れ し へ い わ や  
 ぐ み の 知 ら せ み こ と ぼ に 立 ち て こ  
 た ら し き と も あ た ら し き い の ち 主

B<sup>b</sup> Am7 D7 Gm7 C7 F

ま た に を 行 き つ た え す す め  
 え た か ら か に 知 ら せ す す め  
 の み く に へ と ま ね き た も う(オ)

# 第52回 全国壮年大会 in 天城

2017年8月24日(木)～26日(土)

主題 キリストに したがう わたしは かわる

聖句 「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前に

かがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。」(ローマの信徒への手紙 14章 11節)

	8/24(木)	
12:00	準備 (120分)	
14:00	・オプ ・プシ ・オン ・C A	・バラエ ・ティ ・ー ・タイム ・の ・プ ・ロ ・グ ・ラ ・ム ・※ ・壮 ・年 ・以 ・外
17:00	受付 (60分)	
18:00	夕食 (60分)	
19:00	開会礼拝	
19:45	オリエンテーション 歓迎と挨拶	
20:15	懇親と交流 ・神学校、神学生を語る ・教会の壮年会活動	
21:30		

	8/25(金)	
7:00	朝の祈り会(30分)	
7:30		
8:00	朝食 (60分)	
9:00	主題講演 加藤 誠 (120分)	
11:00	主題講演を受けて (90分) -恵みの分かち合い-	
12:30	昼食 (60分)	
13:30	総 会 (180分)	・オ ・プ ・シ ・ョ ・ン ・B の ※ 壮 年 以 外 の プ ロ グ ラ ム
16:30	壮年の課題共有の時間 (壮年会連合) (90分)	
18:00	夕食 (60分)	
19:00	神学校と賛美の夕べ (150分) ・西南学院大学神学部 ・東京バプテスト神学校 ・九州バプテスト神学校 ・証し 伊藤世里江	
21:30		

	8/26(土)	
7:00	朝の祈り会(30分)	
7:30		
8:00	朝食 (60分)	
9:00	提唱の時間 ・神学校献金推進 ・協力伝道 ・次回大会アピール	
11:00	派遣礼拝	
11:45		

## ※バラエティータイム

24日

・オプション A

天城峠のブナ林散策&旧天城トンネル

・オプション C

日本の滝百選 浄蓮の滝で溪流魚釣り

25日

・オプション B

世界遺産 葦山反射炉見学

※大会プログラム内容は、変更されることもございます。

第 52 回  
**全国壮年大会 in 天城**  
 キリストに したがう わたしは かわる  
 2017 年 8 月 24 日～26 日

8 月 24 日 (木)

スケジュール	
14:00	<b>バラエティータイム</b> ・ オプション A (天城峠ブナ林散策&旧天城トンネル) 天城山荘より車に分乗して出発 ・ オプション C (日本の滝百選 浄蓮の滝で溪流魚釣) 天城山荘より徒歩で出発 ・ 神学校献金推進委員会議
17:00	<b>受付 1号館ロビー</b> 登録の確認、資料、名札受取り、荷物移動
18:00	<b>夕食</b>
19:00	<b>開会礼拝 2号館チャペル</b> 司会：石井努 指揮：山中臨在 奏楽：加山献 前奏 奏楽者 礼拝への招き「行け 主のしもべ！」 北関東地方連合壮年聖歌隊 祈り 司会者 会衆賛美 16「み栄えあれ 愛の神」 聖書 ガラテヤの信徒への手紙 6章 9-10節 司会者 説教 「壮年よ、霊に在って共に歩もうではないか」 篠谷輝俊 (新潟主の港) 会衆賛美 73「善き力にわれ囲まれ」 献金 賛美「私のすべて」(久保公平、廣島尚) 渡邊弘 会衆賛美 「行け、主のしもべ！」 頌栄 672「ものみなたたえよB」 祝祷 篠谷輝俊
19:45	<b>歓迎と挨拶、オリエンテーション 2号館チャペル</b> 歓迎 石井努実行委員長、大城戸一彦全国壮年会連合会長 挨拶 田口昭典理事長 オリエンテーション 久保公平事務局長
20:15	<b>懇親と交流 グループに分かれて</b> ・ 神学校、神学生を語る ・ 教会の壮年会活動を語る
21:30	<b>終了</b>

第 52 回  
**全国壮年大会 in 天城**  
 キリストに したがう わたしは かわる  
 2017 年 8 月 24 日～26 日

8 月 25 日 (金)

7:00 朝の祈り 自由に	
7:30 自由	
8:00 朝食	
9:00 主題講演 2号館チャペル 司会：二見眞義 奏楽：加山献 講師：加藤 誠 (大井バプテスト教会牧師) 演題：「キリストに したがう わたしは かわる」 聖書：第一テサロニケ 1 章 1 節～10 節	
11:00 主題講演を受けて 恵の分かち合い グループに分かれて	
12:30 昼食	
13:30 総会 (全国壮年会連合) 2号館チャペル 賛美：新生讃美歌 94 番 指揮：坂本献 奏楽：加山献 議長団選出、議事	オプション B (世界遺産 葦山反射炉見学ガイド付 き)
16:30 壮年の課題共有の時間 (全国壮年会連合) 分団 A 献身者を生み出す教会 分団 B 新任牧師と協働する教会 分団 C 全国大会開催の方法 (壮年大会をデザインする) 分団 D 奨学金制度の充実 分団 E 「神学校献金 (神学生奨学金献金)」の推進	
18:00 夕食	
19:00 神学校と賛美の夕べ 2号館チャペル 進行：音楽委員会 証しとアピール ・西南学院大学神学部： ・東京バプテスト神学校： ・九州バプテスト神学校： ・伊藤世里江 (IJCS 牧師)	
21:30 終了	

第 52 回  
**全国壮年大会 in 天城**  
 キリストに したがう わたしは かわる  
 2017 年 8 月 24 日～26 日

8 月 26 日 (土)

7:00 朝の祈り 自由に
7:30 自由
8:00 朝食 食後にチェックアウトをお願いします。
9:00 提唱の時間 2号館チャペル 司会：二見眞義 神学校献金推進の時間 協力伝道の時間 理事会、宣教部、総務部、宣教研究所、天城山荘 その他団体・有志 <hr/> 次回、東北大会のアピール
11:00 派遣礼拝 2号館チャペル <p style="text-align: right;">司会：大城戸一彦 奏楽：山中臨在 指揮：坂本献</p> 前奏 奏楽者 会衆賛美 32「主のみ名をたたえよ」 祈り 司会者 聖書 ヨハネによる福音書 10 章 27 節～30 節 説教 「わたしと父とは一つ」 大島博幸（ふじみ野） 会衆賛美 304「主の血に贖われ (B)」 献金 原田潔 会衆賛美 「行け 主のしもべ！」 頌栄 679「ベネディクション」 祝祷 大島博幸
感謝の言葉 大城戸会長、石井実行委員長
11:45 解散

## 第 52 回全国壮年大会 主題講演レジメ

「キリストに したがう わたしは かわる」

大井バプテスト教会 加藤 誠

1. 「信じて働き、愛して労し、望んで耐える」(第一テサロニケ 1 : 1 ~ 10)
  - ・ A 教会の礼拝堂にかけられていた額 B 牧師が愛した言葉
  - ・ 「お見合い説教」の礼拝で倒れた B 牧師を受け入れ、共に歩んだ A 教会
  - ・ 12 年間の無牧師期間を通し、ささげられてきた礼拝
  - ・ 「わたしの信仰、わたしの愛、わたしの希望」ではなく、一人ひとりの名を愛をもって呼び、教会として建て続けてくださっている方の「信仰、愛、希望」において、わたしたちは歩む。
  
2. アンデレの信仰 ～「キリスト」を指し示す歩み～
  - ・ 常に“脇役”を生きた男
  - ・ この世界において、教会・キリスト者に託された使命とは？
  - ・ 大井教会のすぐ近くで起こっている出来事 ⇒教会はいったい何ができているのか？
  - ・ 「わたし」を指し示すのではなく、「キリスト」を指し示すことができたなら。
  
3. 「共に」教会を形づくる
  - ・ 「バプテスト教会」になりたい！
  - ・ 教会が問われ、考え、学び続けることは「バプテスト教会」になっていく貴重な機会！
  - ・ 牧師の仕事は失敗しながら、生涯学び続けるもの。
  - ・ 「10年、20年経験したから大丈夫」はないし、同様に「10年、20年クリスチャンしているから大丈夫」もない。むしろ「分かったつもりの自分」が一番厄介！  
どう崩され続けていくか？
  
4. 一人の献身を支える教会・神学校・連盟の協働
  - ・ 献身を育む段階で求められること
  - ・ 神学校での学びを支える
  - ・ 教会に赴任してから大切なこと



2017 年度 日本バプテスト連盟 全国壮年会連合総会 議案・資料

日時：2017年8月25日（金）13時30分

場所：日本バプテスト連盟 天城山荘

《議案》

議案No.	《 内 容 》		頁	説明者
1	1-1	2016 年度全国壮年会連合活動報告 資料：各教会・伝道所別神学校献金・会費一覧表（2014～2016 年度）	10	岩ヶ谷事務局長
	1-2	2016 年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	13	伊東前奨学金委員長
	1-3	2016 年度監査報告（業務監査）	17	富士栄監査・加山監査
2	2-1	2016 年度一般会計決算報告	20	高井会計
	2-2	2016 年度奨学金会計決算報告	21	山本前奨学金委員
	2-3	2016 年度監査報告（会計監査）	(17)	富士栄監査・加山監査
3		2018 年度神学校献金（神学生奨学金献金）目標額	22	野口副会長
4		全国壮年会連合規約細則改正	23	岩ヶ谷事務局長
5		2017-2018 年度全国壮年会連合活動計画案	24	大城戸会長
6		2017-2018 年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案	29	篠田奨学金委員長
7	7-1	2017 年度全国壮年会連合一般会計修正予算案 及び2018 年度全国壮年会連合一般会計予算案	33	高井会計
	7-2	2017 年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案 及び2018 年度全国壮年会連合奨学金会計予算案	34	田口奨学金委員
8		2018-2019 年度全国壮年会連合会長・副会長・監査選挙に関する件	35	大城戸会長 (選挙管理委員長)
9		第54回(2019年度)全国壮年大会担当地方連合の件	36	岩ヶ谷事務局長
10		2018 年度 総会議長の件	36	岩ヶ谷事務局長

《資料》

- \*各教会・伝道所別神学校献金・会費一覧表（2014～2016 年度）
- \*全国壮年会連合 39 年の歩み
- \*西南学院大学神学部報告と在学生名簿
- \*東京バプテスト神学校在学生名簿
- \*九州バプテスト神学校在学生名簿
- \*プロジェクト分団資料（第50回大会WG提案書に対する取り組みと今後の課題 添付）

《活動方針》

全国バプテストの壮年が壮年同士の交流をはかる中から、お互いが触発され信仰が整えられ、主が示された働きのために助け合い、祈り合い、献身的に仕えることを通して、「教会形成を担う」と「伝道者養成の業」に参加する。

上記活動方針を実現するために以下の施策を展開した。

なお、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」(以下、WG)により答申された『今後の全国壮年会連合活動について』の内容については、本年度4つのプロジェクトチーム(以下、PT)を立ち上げ、壮年大会において共有することができる提言を各PTから受けた。

I. 全国壮年大会の開催

1. 第51回(2016年度)全国壮年大会の開催

全国壮年会連合規約第5条(2)に則り開催した。

開催日時	2016年8月19日(金)～20日(土)
会場	西南女学院大学マロリーホール(一日目)、日本バプテストシオン山教会(二日目)
主題と講師	「連帯と協力こそがバプテストの生命線」 田口昭典 師 <聖書> 「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」(ローマの信徒への手紙12章1節)
大会運営担当	バプテスト北九州地方連合壮年会

- 参加者全国 教会・伝道所から 397名が参加(女性会、青年等含む。大会報告書より)
- 詳細は別途大会報告書参照
- 大会プログラムの中で、2016年度全国壮年会連合総会を開催した。

2. 第52回(2017年度)全国壮年大会

北関東地方連合壮年会の担当で準備。会場は天城山荘にて実施。

3. 以降の全国壮年大会の計画と準備

① 確定している大会運営担当

第53回(2018年度)大会は東北地方連合壮年会と協議中。1泊2日で仙台市内を会場として計画しており、充実した大会となるよう役員会としても支援していく。

II. 伝道者養成の業への参与

1. 神学校献金(神学生奨学金献金)活動の推進

西南学院大学神学部(神学生)に対する奨学金及び連合立等神学校奨学金制度への資金支援のため、「神学校献金(神学生奨学金献金)」目標 3,000万円達成に向けて取り組んだ。昨年度とほぼ同額の 2,235万円の献金となったことを感謝したい。

① 神学校週間(2016年6月26日～7月3日)でのアピールした内容。

- 昨年に続き『神学校週間のしおり』を以下のコンセプトで作成し全国の諸教会・伝道所に配布した。
  - バプテスト誌7月号特集折り込み「神学校週間をおぼえて」の編集に参画し、壮年会連合セクションの割り付けを担当した。
  - <紙面割り付け(構成)>

	編集担当	記事
1面	連盟(編集室)	巻頭言:日本バプテスト連盟常務理事 吉高 叶 師 西南学院大学神学生及び各連合立等神学校神学生の証し
2面	壮年会連合	奨励 川崎バプテスト教会 大野裕昭牧師 神学校週間にあたって 三神学校の神学生の紹介(氏名等)、直近の神学校献金推移 神学校献金(神学生奨学金献金)Q&A

◇ 壮年会としての配布部数 10,000部(壮年会員×2+α)

- 献金封筒等活動ツールを作成送付(全教会・伝道所宛)した。

- ② 神学校献金推進活動の紹介  
 壮年会連合ニュースの記事(寄稿)として神学生と神学校献金推進委員の働きを紹介した。
- ③ 教会ごと個別アピールの実施  
 前年度実績から大幅に減少した教会について、地方連合壮年会長(神学校献金推進委員)からのサポートを得ながら、協力をお願い文書を発行し、働きかけを行った。
- ④ 神学校週間に合わせてホームページに掲載している西南学院大学神学部及び、東京・九州両バプテスト神学校を紹介するツールの活用をアピールした。
- ⑤ 神学校献金推進委員会議の開催  
 2016年度は第51回全国壮年大会前日(2016年8月18日北九州バプテスト教会)にて開催し、大会でのアピールのための内容確認と神学校献金推進委員が地方連合の中で献金推進活動を十分に行えるよう、推進委員相互の意見交換の場とした。また神学校献金(神学生奨学金献金)推進ツールとしてパンフレットを制作することにした。

## 2. 信徒運動として伝道者養成を推進する。

- ① 2012年WGからの提案について、全国の壮年会員に、課題として共有していただき、実現に向けて下記に掲げるプロジェクト・チームを編成し、取り組んだ。下段は担当地方連合、(L)リーダーを表わし、各役員と協働して進めた。
  - 1) 「献身者を生み出す教会」～教会形成を担う壮年の働きを通して  
 関西(L)、中部、中国・四国
  - 2) 「新任牧師と協働する教会」～新任牧師が早期に辞任(離職)する事象を捉えて  
 北九州(L)、福岡、南九州、西九州
  - 3) 「全国大会開催の方法」～大会の充実を目指して  
 東北(L)、北関東、東京、神奈川
  - 4) 「奨学金制度の充実」を連盟理事会の同意のもとで行う  
 奨学金委員、有志
  - 5) 「地方連合壮年会等代表者会議」の位置づけについて  
 役員会
- ② 伝道者として第一線に立とうとしている献身者に対し、以下の機会に全国の壮年からの期待を伝えた。
  - 神学校入学前研修会(連盟宣教部主催、2月27日～3月3日実施)
  - 新任牧師・主事研修会(宣教研究所主催、3月10日～3月11日実施)

## Ⅲ. 教会形成を担う壮年の働きの推進

### 1. 全国の壮年同士の連帯強化と活性化

- ① 壮年として全国のバプテストが問われている課題を実体験し、自身の信仰の成長を目指すとともに、全国の壮年と課題を共有し、教会形成に参加する壮年としての具体的な働きに導くことができるよう、以下の研修に壮年を派遣した。
  - i. 「沖縄平和学習ツアー」への派遣
    - ・主 催:女性連合 共催:連盟宣教部
    - ・日 程 2016年6月21日(火)～24日(金)3泊4日
    - ・派遣者:向井田洋兄(仙台教会)
- ② 地方連合壮年会交流活動への支援  
 壮年会活動の活性化を図るため、二つ以上の地方連合壮年会が協働して行うイベントに対し行う金銭的な支援活動は、九州四地方壮年会から申請の「新卒牧師を迎える教会の協働シンポジウム」開催に金銭的な支援を行った。

### 2. 全国壮年の情報の共有のための「壮年会連合ニュース」の発行

年5回発行した。  
 また、役員会・奨学金委員会報告を定期的に掲載することで、全国壮年会連合活動のアピールをした。このことにより各教会に神学校献金(神学生奨学金献金)及び全国壮年会連合会費の必要性を認識していただくことを期待した。

＜壮年会連合ニュース2016年度発行実績と各紙面概略＞

(敬称略)

発行月	号	1面執筆者、記事	2面執筆者、記事
2016/4/20	91	大城戸一彦全国壮年会連合会長 総会公告、奨学金委員長選挙予告	広木愛西南神学生 篠田裕俊奨学金委員証し
2016/6/20	92	梅木芳昭大会実行委員長 奨学金委員長選挙公示総会議案一覧	田口圭子九州バプテスト神学生 石井努北関東地方連合会長
2016/10/20	93	松村誠一東京バプテスト神学校校長 総会審議報告(速報)9月累計献金会費実績	小川紋子(旧姓:青木)西南神学生 山内章彦神学校献金推進委員
2016/12/20	94	吉高叶日本バプテスト連盟常務理事	田中宜之東京バプテスト神学生 北村慎二関西地方連合会長 第2回奨学金委員会報告
2017/2/20	95	朴思郁宣教研究所所長 三上充西南神学生	高井透神学校献金推進委員 奨学金献金壮年会費納入速報 第52回全国壮年大会案内

IV. 規則改定の取組み

奨学金関係の規則改定の提案をし、総会で承認された。

- ① 神学生の負担軽減を目的として、2種奨学金をこれまでの貸与から給付に変更するとともに、配偶者特別加算、子ども特別加算、および図書援助費を2種奨学金の中に新設。
- ② 配偶者免除規程(規定第15条)の削除により、女性神学生の教会招聘を妨げる恐れを排除。
- ③ 「専ら伝道の業に従事する者」についての規定を整備。

V. 2016年度全国壮年会連合協力体制

地方連合壮年会長・神学校献金推進委員 (敬称略)

地方連合	壮年会長(教会)	神学校献金推進委員(教会)
・北海道	鈴木 一弘(旭川)	鈴木 一弘(旭川)
・東北	向井田 洋(仙台)	杉山 修一(山形)
・北関東	石井 努(太田)	高井 透(高崎)
・東京	山田 誠一(大井)	山田 誠一(大井)
・神奈川	北村 賢(百合丘)	安里 耕二(川崎)
・西関東		須河内 彰(浜松)
・中部	山本 長邦(名古屋)	山内 章彦(四日市)
・関西	北村 慎二(宝塚)	酒井 俊一(北大阪)
・中四国	松田 裕二(道後)	石倉 央(広島)
・北九州	梅木 芳昭(大分)	山下 保(シオン山)
・福岡	三室 日朗(西南学院)	馬場 和幸(平尾)
・西九州	中島 一弘(大川)	桑原 伸良(長崎)
・南九州	曾根 基雄(児湯)	曾根 基雄(児湯)

◇ 役員会・委員会

役員会・委員会	氏名(教会・担務)	
・役員会	大城戸 一彦(西川口・会長)	野口 正俊(志村・副会長)
	井伊 肇(日立・書記)	岩ヶ谷 吉範(経堂・事務局長)
	高井 透(高崎・会計)	
・奨学金委員会	伊東 信吉(大富・委員長)	鈴木 一弘(旭川・総務)
	篠田 裕俊(田隈・渉外)	原田 陽一(高崎・返還)
	山本 長邦(名古屋・会計)	
	萩原 永子(洋光台・連盟理事)	須藤 伊知郎(西南学院大学神学部長)
・監査	富士栄 迪(名古屋)	加山 文規(水戸)
・規則改定委員会	原田 潔(浦和・委員長)	井伊 肇(日立)
	坂口 昌彦(目白ヶ丘)	
・事務局員	飯野 實(宮原)	

以上

## 議案 1-2

## 2016 年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告

### 《活動方針》

下記規程・運営規則・覚書に基づいた活動を諸教会、全国壮年会連合、日本バプテスト連盟理事会、西南学院大学神学部等との協働によって行う。

〈関連規則等〉

全国壮年会連合・連盟理事会との「覚書」	2008年9月2日締結
「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」 (略称:全国壮年会奨学金規程)	2011年8月25日改定
「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金委員会 運営規則」	2000年9月16日発効
「連盟加盟の教会、および連盟関係諸機関について」	2006年8月25日施行
神学校献金使途拡充による「覚書」(連盟と両神学校で締結)	2013年3月31日締結

### 1. 基本活動

- ①全国壮年会奨学金規程の所管事項第6条(1)～(3)による活動
  - \*業務計画・予算案・業務報告書・決算書を全国壮年会連合役員会(以下、役員会)へ提案・提出する。
  - \*貸与額・返還条件に関する基本方針を策定し、役員会へ提案する。
- ②同規程の所管事項第6条(4)～(5)による活動
  - \*奨学生の募集、選考、貸与額・返還条件を決定する。
  - \*返還状況を確認し、遅滞者に督促する
- ③同規程の所管事項第3条2号、5条2項による活動
  - \*この制度の運営に関する年度の業務報告等を、役員会を經由し連盟理事会に報告する。
  - \*連盟理事会、西南学院大学神学部との協働を明確にして、活動を行う。
- ④貸与奨学金返還遅延者に関しては、連盟理事会、推薦教会と緊密に連携し対応する。
- ⑤2011年度壮年会連合役員会委嘱によるワーキングチームからの答申を受け、受託後10年間の評価をしつつ奨学金制度の課題について連盟理事会との協働により解決を図る。
- ⑥「神学校献金の使途拡充の件」に伴う「連合立等神学校奨学金」に関する、連盟理事会からの受託業務。

### 2. 奨学金委員会構成メンバー及び委員会の開催

- ①構成メンバーと職務(委員の任期 2015年4月1日～2017年3月31日)

氏名	職務	所管する事項
伊東 信吉	委員長	委員会の招集・議長 連盟・全国壮年会連合との調整
原田 陽一	返 還	奨学金返還管理に関すること(正)、 遅滞者に督促等および推薦教会との連絡調整に関すること
鈴木 一弘	総 務	奨学金委員会で所管する規程に関すること 会議記録に関すること
篠田 裕俊	渉 外	奨学生の募集、選考に関すること 奨学生(在学生)との連絡調整に関すること 西南学院大学神学部との連絡調整に関すること
山本 長邦	会 計	財務(収支および資金管理)に関すること 奨学金返還管理に関すること(副) 貸与者の記録管理に関すること
萩原 永子	連盟担当理事	連盟理事会に関すること
須藤伊知郎	神学部長	西南学院大学神学部に関すること

(委員会陪席) 壮年会連合事務局員(飯野實)

- ②奨学金委員会開催(2016年度)
  - 第1回 2016年4月9日(土)
  - 第2回 2016年11月19日(土)
  - 第3回 2017年1月28日(土)

- ③壮年会連合役員会との合同役員会出席（2016年度）  
 第1回 2016年6月11日(土)  
 第2回 2017年3月4日(土)
- ④代表者等会議出席（2016年度）  
 2016年5月13日(金)～14日(土)
- ⑤西南学院大学神学部学生等との面談（2016年度）  
 第1回 2016年4月4日(金) 2016年度新入生との面談及び神学部教授会との情報交換等  
 第2回 2016年10月29日(土) 2017年度編入学予定者との面談及び神学部教授会との情報交換等
- ⑥宣研主催新任牧師・主事研修会 2017年3月（役員会対応）  
 連盟との協働による壮年会連合の取組み事項「伝道者養成の業」を通して壮年会連合の働きをアピール
- ⑦「伝道者養成・教会形成」プロジェクトー奨学金制度の充実ー  
 第1回 2017年1月28日(土)、第2回 2017年3月3日(金)

### 3. 貸与奨学金実績（奨学金貸与者および貸与奨学金額）

#### ①2016年度貸与奨学金状況（奨学金貸与者と貸与奨学金額）

種 別	貸与数	奨学金貸与者（ ）内は推薦教会
博士後期2年	0名	
博士後期1年	0名	
博士前期2年	3名	広木 愛(田隈)、福久織江(函館)、青木綾子(南光台)
博士前期1年	2名	三上 充(金沢)、元川信治(調布)
専攻科	1名	酒井朋宏(名古屋)
学部4年	6名	伊藤真嗣(相模中央)、遠藤光子(別府国際)、紺田剛孝(田辺) 酒井 信(緑の牧場)、永山辰原(福岡西部)、平野健治(大井)
学部3年	3名	川久保拓也(ふじみ野)、KANDEL JANAK(福岡新生)、杉本拓哉(宇都宮)
学部2年	1名	小櫻 信(大阪)
学部1年	0名	
選科3年	3名	永松 博(野方)、宮田祐亮(富山小泉町)、横濱峰二子(札幌)
選科2年	1名	加山 献(新潟主の港)
選科1年	1名	原田 賢(大宮)
神学部研修生	1名	大里 紡(鳥栖)
合 計	22名	

#### ②奨学金貸与額

奨学金の種類	貸与奨学金額（合計）
1種奨学金：校納金（授業料＋施設費＋教育充実費）対応	18,912,000円
2種奨学金：生活費支援	8,130,000円
総 計	27,042,000円

### 4. 貸与奨学金返還状況

#### ①貸与奨学金返還状況（奨学金規程に沿った返還）

卒業経過年	2016年返還実績		2017年3月末貸与奨学金状況	
	人 数	返還額	人 数	貸与奨学金額
卒業～5年未満	5名	1,677,000円	28名	77,951,800円
5年～8年未満	8名	2,507,800円	6名	16,385,200円
8年～10年未満	6名	1,819,000円	6名	9,390,894円
10年以上	7名	2,011,927円	2名	5,095,000円
合 計	26名	8,015,727円	42名	108,822,894円

- ※奨学金規程第 15 条による免除の可否が確定していない者は全額返済として計上
- ※奨学金規程第 14 条 3 項（奨学金返還の義務者が夫婦である場合、どちらか一方の返還まで残りの方の返還を猶予）による返還開始時期猶予の適用を受けた者を含む
- ※在学生の貸与奨学金合計額：52,890,000 円は含まない

②返還滞留者状況（奨学金規程第 14 条 3 項による返還開始時期猶予の適用を受けた者を除く）

滞留状況	2016 年度返還実績		2017 年 3 月末状況	
	人数	返還額	人数	貸与奨学金残額
卒後 10 年以上経過返還未完了	7 名	2,011,927 円	2 名	5,095,000 円
卒後 5 年以上返還未開始	4 名	1,832,400 円	2 名	631,200 円

③貸与奨学金償却額（規程第 15 条による償却免除額を含む）

1 種奨学金	9 名分	21,225,600 円
2 種奨学金	25 名分	7,452,000 円
合 計		28,677,600 円

④貸与奨学金残高内訳

1 種奨学金	63 名分	130,242,894 円
2 種奨学金	58 名分	31,470,000 円
合 計		161,712,894 円

※奨学金残高対象者の人数の違いは、1 種奨学金を全額返還し 2 種奨学金が残っている対象者が 1 名、2 種奨学金を貸与しなかった対象者が 6 名いるためである。

## 5. 特記事項

- ①卒業後赴任待機中（返還開始までの猶予期間は 3 年間）の方へのフォローについては慎重な対応が必要との認識のもとで「近況報告」を求めながら、推薦教会と情報を共有しコンタクトをとって進めてきた。特に連絡が途絶えている方については推薦教会の牧師、役員と協議し、代務返済を依頼した。
- ②卒業後伝道者とならず長期滞納者に対して、本人並びに推薦教会と連絡をとり、本人返還や推薦教会による代務返済もお願いした。
- ③2 種奨学金を見直し、図書援助費、配偶者加算、子ども手当を新設するとともに、神学寮に入寮を原則にして、貸与から給付に切り替えた。併せて、奨学金規程を改正した。
- ④「伝道者養成・教会形成」プロジェクトにおいて、奨学金制度の充実について協議を行った。
- ⑤2016 年度総会で、「神学生の返還状況を再確認した際に、連盟規程と壮年会規程の適用者に不明な点があることを調査中」と報告したが、その後調査を行い、次の通り判明した。すでにそれぞれ修正を完了している。
  - ・2013 年 12 月 30 日 旧 1 種とすべきを旧 2 種と誤記
  - ・2016 年 2 月 22 日 旧 2 種とすべきを新 1 種と誤記

2016年度日本バプテスト連盟神学生奨学会会計決算報告書

2017年3月31日現在

貸借対照表

資産の部	2015年度	2016年度	負債・資本の部	2015年度	2016年度
資産の部			負債の部		
現金	0	0	未払金	0	0
郵便振替	38,939,305	41,012,298	諸引当金	0	0
普通預金	1,446,203	1,669,230	流動負債計	0	0
定期預金	70,199,852	70,208,174	負債合計	0	0
現金・預金計	110,585,360	112,889,702	資本の部		
前払い金	4,636,000	2,626,000	基本金	213,875,164	213,875,164
流動資産計	115,221,360	115,515,702	基本計	213,875,164	213,875,164
貸与奨学金	171,364,221	161,712,894	前年度繰越差額	70,639,276	72,710,417
(1種奨学金)	138,552,221	130,242,894	当年度収支差額	2,071,141	-9,356,985
(2種奨学金)	32,812,000	31,470,000	次年度繰越収支差額	72,710,417	63,353,432
投資その他の資産勘定	171,364,221	161,712,894	資本合計	286,585,581	277,228,596
資産合計	286,585,581	277,228,596	負債・資本合計	286,585,581	277,228,596

摘要	1種	2種	合計
2016年度貸与総額	18,912,000	8,130,000	27,042,000
2016年度返済額	5,995,727	2,020,000	8,015,727
償却額	21,225,600	7,452,000	28,677,600

消費収支計算書

自2016年4月1日至2017年3月31日

消費支出の部	2015年度	2016年度	消費収入の部	2015年度	2016年度
連合立等神学校奨学金	600,000	840,000	神学生奨学金献金	22,274,475	22,352,285
壮年会連合奨学金事務	1,600,000	2,200,000	献金収入計	22,274,475	22,352,285
その他(送金手数料)			神学校献金繰入金	0	0
その他支出計	2,200,000	3,040,000	諸引当金取崩収入	0	0
特別支出			繰入金収入計	0	0
貸与奨学金償却額	18,019,800	28,677,600	雑収入	16,466	8,330
特別損失	0	0	特別利益	0	0
特別支出計	18,019,800	28,677,600	その他の帰属収入計	16,466	8,330
			帰属収入計	22,290,941	22,360,615
消費支出合計	20,219,800	31,717,600	消費収入合計	22,290,941	22,360,615

当年度収入超過額 2,071,141 -9,356,985

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

会長 大城戸一彦

会計 高井透

2017年4月14日

監査 富士栄 迪

監査 加山 文規





2016 年度全国壮年会連合業務・会計監査報告

監査日時：2017 年 4 月 14 日（金）10:30-16:30

場所：日本バプテスト連盟事務所 3 階会議室

立会人：全国壮年会連合会長 大城戸一彦、岩ヶ谷吉範

全国壮年会連合 2016 年度会計役員 高井 透、同奨学金委員 山本長邦

事務局員 飯野 實

監査対象：（1）2016 年度全国壮年会連合活動計画

（2）2016 年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画

（3）2016 年度全国壮年会連合一般会計決算報告

（4）2016 年度全国壮年会連合神学生奨学金会計収支報告

1. 監査要領

（1）業務監査

業務監査は、全国壮年会連合の組織運営及び、活動の状況が、設立の目的である「伝道者養成」、  
「教会形成を担う壮年」に沿ったものであるかを検証し、活動計画の具体的な取り組み方針、その  
実施状況、課題などについて関係書類の閲覧、及び役員へのヒアリングにより行った。

また、2012 年 3 月 1 日に役員会に提出されたワーキンググループの答申書『今後の全国壮年会連  
合活動について』にある提言に対する取り組み状況、活動計画への反映、課題などについて関係書  
類の閲覧、役員へのヒアリングを行った。

（2）会計監査

以下の項目を実施した。

① 一般会計：2016 年度全国壮年会連合決算報告書に記載された金額、次年度繰越金額、残高証明の  
金額及び 2017 年 3 月末現在の現金残高の照合。

② 奨学金会計：2016 年度全国壮年会連合神学生奨学金会計決算報告書、貸借対照表の「資産の部」  
記載の現金と預金残高及び 2017 年 3 月末現在における神学生奨学金会計収支報告の「次年度へ繰  
越金」に対する金融機関発行の残高証明との照合。

③ 一般会計および奨学金会計の入出金伝票類、関連帳簿の閲覧と点検照合、及び領収書の確認。

④ 奨学金会計の貸借対照表の貸与奨学金残高と「奨学金個別台帳」の累計額を集計した額との照合。

2. 監査結果

（1）業務監査

① 全国壮年会連合が壮年会連合事務局と緊密な連携を保ちつつ、全国壮年会連合の規約等に則り、  
活動計画が適切に運用されており、神学校献金及び壮年会費の用途についても適正な事務処理に  
より使用されていることを確認した。

② 監査 2 名は全国壮年会連合規約第 7 条 1 項(6)により役員であっても、同 8 条 1 項によると、役員  
会の構成員ではないので、役員会出席の義務はない。しかしながら役員会出席、報告などにより  
情報の共有化が出来ており、全般的な運営状況を適切に把握することが出来た。

③ ワーキンググループの答申書『今後の全国壮年会連合活動について』の提言については、引き続  
き取り組んでおり、2016 年度には、プロジェクトチームを立ち上げ、提言された課題に取り組ん  
だ。2017 年の全国壮年大会においても、課題が共有される機会が設けられる。

これらにより、各地方連合壮年会、各教会の壮年会との情報と課題の共有化がはかられるもの  
と考える。プロジェクトチームの主な課題は以下の通りである。

- 献身者を生み出す教会
- 新任牧師と協働する教会
- 全国大会開催の方法

#### ④ 活動状況についての主な特記事項

- 役員会の運営、活動計画の実施、プロジェクトチームの運営、事務局の実務対応においてガバナンス機能が働いており、評価できます。
- 分かりやすい壮年会連合ニュース、壮年会連合ホームページによって、各地方連合壮年会、各教会、壮年会員との情報共有は図られていますが、今後も継続して工夫がなされることを希望します。
- 「神学校（神学生奨学金）献金」推進運動が、「伝道者養成」活動の一環であるとの理解が進んできていると思います。今後ともこの理解を継続して主張していく事を希望します。

#### ⑤ 神学校献金（神学生奨学金献金）の目標

- 奨学金制度の目的は、全国壮年会奨学金規定（略称）にある通り、連盟加盟の教会、関係諸機関において「専ら伝道奉仕することを志望している西南学院大学神学部、神学専攻科及び大学院に学ぶ神学生に、その勉学を奨励・援助すること」であります。
- 目標額は2005年以来、3000万円と設定されてきましたが、2005年の2498万円をピークに未だ達成されていません。しかしながら、ここ数年の貸与者は20名前後で、実績献金額は、送り出した献身者の奨学金を支えることのできる金額であったことは、感謝し、喜びたいと考えます。
- 2013年以降は連合立神学校の奨学金制度への支援が始まり、さらに2016年には、西南学院神学生に対する第2種奨学金は、生活支援及び学習支援のために貸与から給付へと改定されました。
- 上記の制度の変更、第2種奨学金の給付への改定を勘案すると3000万円目標の必要性が従来にも増して高まったと考えられます。この目標は、“牧師（伝道者）への献身決意を表す信徒を生み出す教会づくり” “教会を挙げて神学生を支え育て、支援の出来る教会づくり”と表裏一体の課題であります。全国壮年会連合、各地方連合壮年会、各教会が共通認識をもちつつ神学校献金（神学生奨学金献金）の運動を展開していくことが求められていると考えます。

#### ⑥ 役員の経済的負担の問題

- 2015年度の監査報告において、全国壮年会連合役員及び総会役員の壮年大会参加費用の補助及び全国壮年会連合役員、奨学金委員の長時間拘束する職務（奨学生選考のための面接、新任牧師・主事研修会参加等）に対する日当支給が提言されました。
- 全国壮年会連合一般会計の財務状況から見て、一挙に解決することは困難な状況であり、可能な範囲で順次、進めていくことを提言します。

#### ⑦ 監査体制

- 監査体制2名が必要と考えます。会計監査は、神学生奨学金制度が、過去数度、変更されていることから、貸与・給付が数パターンあること、また、返還や償却も複数のパターンがあることから相当の監査体力が必要と考えます。また、貸与・給付対象となる神学生の人数の動向、奨学金の返還状況を見ながら、神学校献金（神学生奨学金献金）の目標額の妥当性や、奨学金会計の財務健全性を随時、検証することも必要と考えます。
- 業務監査の面からも、監査2名体制が必要と考えます。全国壮年会連合役員会がその目的遂行、計画実行に当たってガバナンス機能が働いているか、各地方連合壮年会、各教会との情報・課題認識の共有できているか、情報発信のあり方が適切か等を、随時、検証していく必要があると考えます。

#### ⑧ 全国壮年会連合の活動とガバナンスの継続性を担保するために、役員会での任期を終える会長や会計役員が、監査などの役員として次の役員会へ関わることを推奨します。

(2) 会計監査

会計監査は2016年度一般会計及び同年度神学生奨学会計の両方について実施した。

- ① 一般会計については、適正に経理されているものと認めます。
- ▶ 2017年3月31日現在の預金残高と銀行残高証明書との一致を確認した。
  - ▶ 奨学会計からの繰入収入は、前年度2015年度の「神学校献金（神学生奨学会計献金）」収入の10%以内で行われていることを確認した。（規約11条第1項）
- ② 神学生奨学会計は、奨学金個人別台帳の集計結果を正確に反映していることを確認した。
- ▶ 2017年3月31日現在の預金残高と銀行残高証明書との一致を確認した。
  - ▶ 奨学会計貸借対照表の貸与奨学金残高と「奨学金個人別台帳」の集計結果を照合した結果一致した。

以下の点を指摘事項とします。

- ▶ 貸借対照表上、資産項目に貸与奨学金として以下の通り計上されている。

第1種奨学金 130,242,894円

第2種奨学金 31,470,000円 合計 161,712,894円

しかしながら、奨学金規定15条の規定により神学生が卒業後4年以上、連盟加盟の教会その他関連機関に専ら伝道の業に従事する場合、第1種奨学金については卒業から10年以内に2割以上返済した場合は、その残額の返還を免除される。同時に第2種奨学金については全額、返還免除される。つまり会計的には償却することになる。

卒業生全員がこの免除を受けると仮定すると、上記貸与奨学金の実質残高は以下の通りとなる。

第1種奨学金 26,048,579円 (130,242,894円 × 20%)

第2種奨学金 0円 合計 26,048,579円

従って、実質的な貸与残高は、161,712,894円から26,048,579円となり、135,664,315円減少することとなる。

- ▶ これに対応して貸借対照表の資本の部が、同一金額減少することとなる。

現在の資本の部の計上額 277,228,596円

上記減少額を減額した場合の資本の部の実質金額 141,564,281円

(277,228,596円 - 135,664,315円)

つまり、貸与奨学金としての資産性は、額面通りではないこと、そしてその結果として対応する資本の部も額面通りではないということに留意する必要がある。

また、神学生30名という目標に対して、現在は20名を切る状況であり、今後神学生数の目標を達成していくためには必要な資本が確保されているかを決算期ごとに確認する必要があります。従って、償却可能性のある金額を適正と考えられる基準によって算出し、償却引当金として計上し、資本の部から除いて、負債として認識する必要があります。

- ▶ 但し、上記計算は、現在の一時点での静態バランスであり、時間的な考慮をしていないことから、減少額全額を引当金として計上するのは、現実的ではないと考えられます。

現実的な対策としては1年先の2017年度末（2018年3月末）の免除額（償却額）が、奨学金個人別台帳の集計表から算出可能であり15,539,400円と算出される。従って翌年度償却予定額を算出して負債の部に翌年度償却引当金として計上することを推奨します。

以上の通り、監査を実施した結果2016年度全国壮年会一般会計及び奨学会計における会計処理はともに適正に行われ、業務も適正に行われていることを確認した。

以上

監査 富士栄 迪



加山 文規



## 議案2-1

## 2016年度全国壮年会連合一般会計決算

単位:円

収入の部	修正予算	決算	備考
1連合会費収入	2,200,000	2,153,000	1435人(前年比99人減)
2奨学会計繰入収入	2,200,000	2,200,000	2015年度奨学金献金22,274,000円の10%以内
3利息・雑収入	0	4	普通利息
4その他	0	212,512	北九州大会開催準備金の戻り金
収入計	4,400,000	4,565,516	
前年度繰越金	333,083	333,083	
合計	4,733,083	4,898,599	

支出の部	修正予算	決算	備考
1会議運営費	1,460,000	1,425,039	
①代表者会議費・旅費	550,000	446,328	5/15-16連合会会長会議・8/20献金推進委員会議
②役員会旅費	150,000	159,190	3回
③奨学会委員会旅費	400,000	439,538	3回
④合同委員会旅費	350,000	379,983	2回
⑤会議事務費	10,000	0	
2広報活動費	755,000	747,036	
①広報費	505,000	497,036	連合ニュース5回、神学校週間資料、大会資料・報告書
②活動費	250,000	250,000	連合ニュース執筆料
3事務局費	1,915,000	1,898,979	
①旅費交通費	300,000	302,740	事務局会議、監査、大会実行委員会との打合せ等
②事務通信費	100,000	96,737	電話、郵便、コピー・印刷機使用料等
③事務費	43,000	66,944	コピー用紙、インク、ファイル等消耗品
④備品購入費	30,000	4,523	
⑤事務職員費	1,230,000	1,232,135	事務局職員1名分・アルバイト
⑥協力伝道献金	132,000	132,000	事務所管理費
⑦支払手数料	80,000	63,900	神学校献金・会費振込料負担分
⑧雑費	0	0	
4特別委員会費	350,000	458,088	各プロジェクトメンバーと参加役員の旅費
5予備費	20,000	0	
6その他	0	3,000	
支出計	4,500,000	4,532,142	
当年度収支差額	△ 100,000	33,374	
次年度繰越金	233,083	366,457	
合計	4,733,083	4,898,599	

2016年度全国壮年会連合  
会 長

会計担当役員

監 査

監 査

2017年4月14日 監査

大城戸 一彦

高井

富士栄

加山 文規



議案2-2

・2016年度日本パプテスト連盟神学生奨学会計収支報告(2016.4.1~2017.3.31)

I. 神学校献金(神学生奨学会献金)会計

<収入>

科 目	修正予算	決 算	備 考
神学生奨学会献金(実質基準)	24,000,000	22,352,285	
返還奨学金	5,442,000	8,015,727	大口返還者からの返還があったため
預金利息	14,000	8,330	
その他			
収入計	29,456,000	30,376,342	
前年度より繰越金	110,585,360	110,585,360	
収入 総計	140,041,360	140,961,702	

<支出>

科 目	修正予算	決 算	
西南神学生奨学金制度運営費用	29,627,000	27,232,000	
東京パプテスト神学校奨学金支援費用	360,000	360,000	3名
九州パプテスト神学校奨学金支援費用	480,000	480,000	4名
支出計	30,467,000	28,072,000	
次年度へ繰越金	109,574,360	112,889,702	
支出総計	140,041,360	140,961,702	

当年度収支 → -1,011,000 2,304,342

II. 西南神学生奨学金制度運営会計

<収入>

科 目	修正予算	決 算	
神学生奨学会献金会計より繰り入れ	29,627,000	27,232,000	
その他	0	0	
収入合計	29,627,000	27,232,000	

<支出>

科 目	修正予算	決 算	
西南学院大学神学部神学生奨学金(当該年度分)	22,909,000	22,406,000	
(内訳)1種奨学金	14,929,000	14,576,000	
(内訳)2種奨学金	7,980,000	7,830,000	
西南学院大学神学部神学生奨学金(翌年度分)	4,518,000	2,626,000	大学院前期1年:2名、学部新入生2名、専攻科2名
奨学金事務費(一般会計へ)	2,200,000	2,200,000	
その他	0	0	
支出合計	29,627,000	27,232,000	

備考

西南学院大学神学部神学生年度別貸与奨学金

年 度	2016	2017	
貸与者(確定)人数	22	15	
前年度前払い金	4,636,000	2,626,000	
当年度支払貸与奨学金	22,406,000	16,641,000	
該当年度貸与奨学金	27,042,000	19,267,000	

全国杜年会連合奨学金委員会 委員長 伊東信吉  
会計委員 山本長邦

2017年4月14日監査

富士栄 瑛

加山 文規



### 議案3 西南、東バプ、九バプの神学生を支えるための 神学校献金（神学生奨学金献金）目標額を3,000万円とする

神学校献金（神学生奨学金献金）推進の運動は、壮年会連合がその活動方針として掲げる「伝道者養成の業への参与」ばかりでなく、「教会形成を担う壮年の働きの推進」そのものとも言えます。神学校奨学金献金推進運動は新たな伝道者を生み出すことであり、その働きは教会形成の一つでもあるのです。すでに多くの壮年は教会形成のただ中にいます。

2016年度も私たちを取りまく厳しい経済状況にもかかわらず、2,235万円もの献金が献げられました。あらためて感謝いたします。

2001年度より、私たち壮年は奨学金制度の運営を開始しました。深刻な教役者不足が現実のものとなった2005年度には、毎年25名程度の西南の神学生に奨学金を貸与できるよう神学生奨学金献金の目標額を3,000万円としました。以来、全国壮年会連合に連なる壮年が中心となって祈り、行動し、献げてきました。

2013年度からこの献金は、連盟定期総会議決を受け、東京バプテスト神学校及び九州バプテスト神学校の神学生への奨学金制度支援のためにも支弁されており、目標額【3,000万円】の必要性がさらに増しております。2018年度も3,000万円の目標に向かって、私たちは、祈り、行動し、献げましょう。

#### <奨学金制度の沿革>

2001年度	連盟からの委託により全国壮年会連合が同制度の運営を開始した。但し連盟制度にあった2種奨学金については資金の不足により制度に組み込めなかった。
2007年度	2種奨学金を復活した。1人年額12万円とした。
2009年度	2種奨学金を、1人年間54万円（配偶者無：30万円）に増額した。
2013年度	連合立等神学校（東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校）の奨学金制度に対し、神学生1人年間12万円（最大2年間）に相当する資金を支弁することとなった。
2017年度	2種奨学金を貸与から給付に変更し、配偶者手当、子ども手当及び図書費援助費を新設した。

#### <直近の献金、奨学金貸与・支給の状況>

##### ※各年度の献金目標額は3,000万円

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
献金額	2,345万円	2,228万円	2,292万円	2,284万円	2,227万円	2,235万円
貸与金額	2,175万円	2,089万円	2,439万円	2,380万円	2,663万円	2,704万円
連合立等神学校	-	-	36万円	60万円	60万円	84万円
神学生数	17名	20名	23名(3名)	19名(5名)	21名(5名)	21名(7名)

※ 神学生数の（ ）内は連合立等神学校の神学生数を表し、本数には含めない。

#### <各連合の献金活動状況>

金額単位：千円。加盟教会数は2015年度教勢報告による。

連合名	献金額			献金教会数		
	2015年度	2016年度	増減	2015年度	2016年度	2015教会数
北海道	480	665	185	14	12	16
東北	657	748	91	11	14	16
北関東	2,265	2,159	-106	19	18	20
東京	4,912	4,891	-21	42	42	57
神奈川	2,127	1,966	-161	18	18	21
西関東	417	485	68	9	8	9
中部	807	762	-45	11	9	13
関西	1,315	1,289	-26	23	22	37
中国・四国	1,002	648	-354	18	17	20
北九州	1,684	1,584	-100	21	23	28
福岡	3,648	3,750	102	41	41	42
西九州	1,146	1,107	-39	10	12	14
南九州	1,170	939	-231	20	21	29
その他	643	1,359	716			
総計	22,274	22,352	78	257	257	322

議案 4

全国壮年会連合規約細則改正に関する件

現行	改正案	改正理由
<p>(事業)</p> <p>第3条 規約第5条第1項に定める「伝道者養成のための神学校献金(神学生奨学金献金)に関する、連盟理事より委託を受けた事業」とは神学校献金(神学生奨学金献金)を推進し、西南学院大学神学部学生奨学金支援のための「奨学金制度」の運営及び東京バプテリスト神学校、九州バプテリスト神学校奨学金制度のための奨学金送金業務と受給者名簿管理を行うものとする。</p> <p>2. 神学校献金(神学生奨学金献金)の目標額の設定は、地方連合壮年会等代表者会議の議を経て、総会において決定する。</p> <p>第25条 代表者会議の構成員は、次の通りとする。</p> <p>(1) 役員</p> <p>(2) 地方連合壮年会等の代表者及び神学校献金推進委員</p> <p>(3) 奨学金委員会の委員長及び委員長が指名した委員</p> <p>(4) 規則改定委員会の委員長及び委員長が指名した委員</p> <p>(5) 総会議長</p> <p>付 則</p> <p>第1条 この細則は1978年1月1日より発効する。</p> <p>10. この改正細則は、2013年8月23日より発効する。</p>	<p>第3条 (1項、現行通り：記載省略)</p> <p>2. (現行通り：記載省略)</p> <p><b>3.各地方連合壮年会の会長並びに神学校献金推進委員は、神学校献金(神学生奨学金献金)推進のために課題を共有し協力する。</b></p> <p>第25条 代表者会議の構成員は、次の通りとする。</p> <p>(1) 役員</p> <p>(2) 地方連合壮年会等の代表者</p> <p>(3) 奨学金委員会の委員長及び委員長が指名した委員</p> <p>(4) 総会議長</p> <p>(5) <b>役員会が陪席として認めた者</b></p> <p>付 則</p> <p>1. この細則は1978年1月1日より発効する。</p> <p>10. この改正細則は、2013年8月23日より発効する。</p> <p><b>11. この改正細則は、2017年8月25日より発効する。</b></p>	<p>これまで3年間、神学校献金推進委員会議を代表者会議と別個に開催し課題を共有し協力してきた。今後も課題共有と協力を役員会として明確にするため、第3条3項を新設した。</p> <p>第25条(2)号の後半(及び以下)と(4)号を削除し、(5)号を繰り上げ(4)号とし、新たに(5)号を設けた。この新設(5)号に規則改定委員などの委員、地方連合のブロック代表者などを含め、幅広く「認めた者」として柔軟な考えを取り入れた。</p> <p>規約などと表記を統一するため、第何条という文言を削除した。</p>

## 議案5

## 2017年度・2018年度「全国壮年会連合活動計画」<案>

### <活動方針>

全国バプテストの壮年が壮年同士の交流をはかる中から、お互いが触発され信仰が整えられ、主が示された働きのために助け合い、祈り合い、献身的に仕えることを通して、「教会形成を担う」と「伝道者養成の業」に参加する。

なお、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」(以下、WG)により答申された『今後の全国壮年会連合活動について』は、2012年度より各施策に反映して継続して取り組んでいるが、昨年度に続き今年度は、壮年会連合の共通の課題として会員諸氏と共有していきたい。

### I. 全国壮年大会の開催

#### 1. 第52回(2017年度)全国壮年大会の開催

全国壮年会連合規約第5条(2)に則り開催する。

開催日時	2017年8月24日(木)～26日(土)
会場	天城山荘
主題と講師	「キリストにしたがう わたしは かわる」 加藤 誠牧師(大井バプテスト教会) <聖書> 「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。」(ローマの信徒への手紙14章11節)
大会運営担当	北関東地方連合壮年会

- 詳細は別途大会案内参照
- 大会プログラムの中で、2017年度全国壮年会連合総会を開催する。

#### 2. 第53回(2018年度)全国壮年大会の開催

東北地方連合壮年会の担当で実施する。

開催日程:2018年8月17日(金)～18日(土) 会場:仙台市内を予定

#### 3. 以降の全国壮年大会の計画と準備

##### ① 確定している大会運営担当

第54回(2019年度)大会は神奈川地方連合壮年会と協議中。今総会に提案する。

地方連合にとっても活性化し、充実した大会となるよう役員会として支援しながら協議を進めたい。

##### ② 今後の全国壮年大会開催の検討

壮年大会の充実を目指して、以下の開催方法実現を目指し関連地方連合と協議を進める。

- 隔年で関東圏3地方連合・福岡地方連合と各地方連合壮年会が交互に運営担当を担い開催する。
- 関東圏3地方連合・福岡地方連合壮年会が運営を担当する大会は2泊3日開催を志向したい。ただし、会場の選定等に大きな課題もある。担当地方連合の実情を加味しながら、役員会の意向を伝え、解決に向けて協力をお願いしていきたい。
- 他の各地方連合壮年会が運営を担当する大会の基本は1泊2日となるが、その場合、壮年同士が十分に交流でき、全国の壮年の課題を共有できるための時間を確保するため、可能な限り開催時間が確保できるよう、開始・終了時間を弾力的な運用によって会期時間を最大に設定していただくことを要望していく
- 毎年の大会プログラムに、神学校献金推進の課題を神学校献金推進委員と参加者全員が共有できるための時間の確保を、大会実行委員会に要望していく。

### II. 伝道者養成の業への参与

#### 1. 神学校献金(神学生奨学金献金)活動の推進

西南学院大学神学部の神学生に対する奨学金及び連立等神学校奨学金制度への資金支援のため、「神学校献金(神学生奨学金献金)」目標3,000万円達成に向けて取り組む。

##### ① 神学校週間(2017年6月25日～7月2日、2018年6月24日～7月1日)でのアピール

- 『神学校週間のしおり』を以下のコンセプトで作成し全国の諸教会・伝道所に配布する。
  - 昨年同様、バプテスト誌7月号特集折込「神学校週間をおぼえて」の編集に参画し、壮年会連合セクションの割り付けを担当する。これにより発行部数の拡大が図れ、各教会での神学校週間アピールのためのツールとして効果が期待できる。



<紙面割り付け(構成)>

	編集担当	記事
1面	連盟(編集室)	巻頭言 西南学院大学神学生及び各連合立等神学校神学生の証し
2面	壮年会連合	神学校週間にあたって(壮年会連合スタンス) 三神学校の紹介、神学生の紹介(氏名等) 神学校献金(神学生奨学金献金)Q&A

◇ 壮年会としての配布部数 10,000部(壮年会員×2+α)

- 献金封筒等活動ツールの作成送付(全教会・伝道所宛)
  - ② 神学校献金推進活動の紹介  
パンフレット「奨学金制度を支える働き」を作成し、地方連合における神学校献金推進委員の働きをサポートする。又壮年会連合ニュースの記事(寄稿)として神学生と神学校献金推進委員の働きを紹介する。
  - ③ 教会ごと個別アピールの実施  
2015年度実績から大幅に減少した教会について、協力をお願いの文書を発行し、地方連合壮年会長(神学校献金推進委員)からのサポートを得ながら働きかけを行う。
  - ④ 神学校週間に合わせてホームページに掲載している西南学院大学神学部及び、東京・九州両バプテスト神学校を紹介するツールの活用をアピールしていく。
2. 伝道者養成を推進する。
- ① 伝道者として第一線に立とうとしている献身者に、以下の機会に全国の壮年からの期待を伝えたい。
    - 神学校入学前研修会(連盟宣教部主催、3月に実施予定)
    - 新任牧師・主事研修会(宣教研究所主催、2~3月に実施)  
役員が、研修企画から加わり、壮年会連合の活動紹介、意見交換の場に参加する。
  - ② 教会に仕える壮年として活動を推進するため、IVに提案するプロジェクトの提言を共有していただく。

### III. 教会形成を担う壮年の働きの推進

1. 全国の壮年同士の連帯強化と活性化
- ① 壮年として全国のバプテストが問われている課題を実体験し、教会形成に参加する壮年としての具体的な働きに導くことができるよう、「沖縄平和学習ツアー」(主催:女性連合、共催:連盟宣教部、日程 2017年6月21日(水)~24(土)3泊4日)に大城戸一彦(西川口教会)を派遣する。
  - ② 地方連合壮年会交流活動への支援  
壮年会活動の活性化を図るため、二つ以上の地方連合壮年会が協働して行うイベントに対し金銭的な支援を行いたい。
2. 全国壮年の情報の共有のための「壮年会連合ニュース」の発行  
<2017年度発行予定と概略紙面構成>

発行月	号	1面 執筆者及び記事	2面 執筆者及び記事
2017/5/1	96	全国壮年会奨学金委員長 新奨学金委員紹介、総会公告、選挙公示	西南神学生 奨学生募集案内
2017/6/20	97	大会実行委員長 総会議案一覧・代表者会議報告・大会プログラム	九州BP 神学生 地方連合会長
2017/10/20	98	神学部長 総会審議報告<速報>、献金・会費9月累計	西南神学生 神学校献金推進委員
2017/12/20	99	宣教部長	東京BP 神学生 地方連合会長
2018/2/20	100	奨学金連盟理事 次期大会プレ案内、献金・会費1月累計	西南神学生 神学校献金推進委員

- 別刷り:献金・会費実績折込予定 96号(16年度実績)、98号(9月累計)、100号(1月累計)

### IV. 2016年度に展開したプロジェクト・チームからの提言等の内容を共有する

1. 2012年に提言されたWGからの課題を中心に、2016年度に以下のプロジェクトを推進してきた。第52回(2017年度)全国壮年大会において参加者と提言内容を共有し、壮年としての伝道者養成と教会形成への参与について全国の壮年に提案したい。

①「献身者を生み出す教会」	教会形成を担う壮年の働きを通して… (担当連合:中部、関西、中国・四国)
②「新任牧師と協働する教会」	新任牧師が早期に辞任(離職)する事象を捉えて… (担当連合:北九州、福岡、南九州、西九州)
③「全国大会開催の方法」	大会の充実を目指して… (担当連合:東北、北関東、東京、神奈川)
④「奨学金制度の充実」	“充実、について、将来への方向性を交えて… (奨学金委員、有志)

2. 「神学校献金(神学生奨学金献金)の推進」についても上記1. 項と同様に同日、共有の分団を持つ。
3. 「地方連合壮年会等代表者会議」の位置づけについては役員会が主体となり、V. 項の通り運営を整理した。
4. 監査から指摘されている役員・奨学金委員に対する全国壮年会参加費の補助、および職務遂行に関する日当の支給については、地方連合壮年会の状況を参考に検討する。

## V. 地方連合壮年会等代表者会議(略:代表者会議)の開催

次の日程で開催する。

- 2017年度 2017年5月12日(金)～13日(土)
- 2018年度 6月に実施の方向で検討中

同会議を総会との関連において位置づけを明確にするとともに、全国の壮年に諸課題を共有していただきたく運用を検討している。

<提案する機能>

- 同会議に総会機能の一部の代行を位置づけることにより、全国壮年会の施策、課題について全国教会・伝道所壮年会とのかかわりを深める。
- 実行計画や案件について、役員会と共有する時間を十分確保し、実効ある施策に成案する。
- 実際の運用については資料「代表者会議の運営についての提言」参照。

## VI. 神学校献金推進委員会議の開催

2017年度は第52回全国壮年会初日(2017年8月24日、於天城山荘)に開催する。

各地方連合における神学校推進委員の活動について、課題等の共有と今後の活動について意見交換を行う。特に今年度は分団討議のテーマでもあり、進め方の確認も行う。また、本会議の今後のあり方は課題として捉えている。

## VII. 規則改定の取組み

規則の改定案作成を2015年度総会にて承認された規則改定委員(任期:2015年8月～2017年8月)により進めるが、今総会には壮年会連合規約細則の改定を提案する。尚、本件は2015年度総会にて審議時間の制約から取り下げた規則の改定について再提案するものである。

## VIII. 2017年度全国壮年会連合協力体制

◇ 地方連合壮年会長・神学校献金推進委員(敬称略)

地方連合	壮年会長(教会)	神学校献金推進委員(教会)
・北海道	鈴木 一弘(旭川)	鈴木 一弘(旭川)
・東 北	向井田 洋(仙台)	八巻正之(仙台)
・北関東	石井 努(太田)	高井 透(高崎)
・東 京	山田 誠一(大井)	青柳 博(大泉)
・神奈川	北村 賢(百合ヶ丘)	安里 耕二(川崎)
・西関東		須河内 彰(浜松)
・中 部	山内章彦(四日市)	田口清吾(岐阜)
・関 西	稲川 仁(宝塚)	酒井 俊一(北大阪)
・中四国	松田 裕二(道後)	石倉 央(広島)
・北九州	菊岡義修(東八幡)	山下 保(シオン山)
・福 岡	今村光利(鳥飼)	諸岡寛(平尾)
・西九州	中島一弘(大川)	河野正成(佐賀新生)
・南九州	曾根 基雄(児湯)	曾根 基雄(児湯)

◇ 役員会・委員会

役員会・委員会	氏 名(教会・担務)	
・役員会	大城戸 一彦(西川口・会長)	野口 正俊(志村・副会長)
	岩ヶ谷 吉範(経堂・事務局長)	高井 透(高崎・財務)
	井伊 肇(日立・書記)	
・奨学金委員会	篠田 裕俊(田隈・委員長)	鈴木 一弘(旭川・総務)
	田口清吾(岐阜・会計)	原田 陽一(高崎・返還)
	北村慎二(宝塚・渉外)	
	伊東信吉(大富・連盟理事)	天野 有(西南学院大学神学部長)
・監 査	富士栄 迪(名古屋)	加山文規(水戸)
・規則改定委員会	原田 潔(浦和・委員長)	井伊 肇(日立)
	坂口 昌彦(目白ヶ丘)	
・事務局員	飯野 實(宮原)	

以上

## 代表者会議の運営についての提言

2012年度WGからの答申を受け、2016年度に役員会メンバーのプロジェクトとして推進した事項について提言する。(正式には「地方連合壮年会等代表者会議」であるが、本文では「代表者会議」と記す)

### 1. 検討の目的と趣旨

- 代表者会議は、全国壮年会連合役員会に総会議案に対して諮問することを中心に機能してきたが、限定的な決裁権限をも有しない会議であった。よって、代表者会議を総会との関連において、限定的ではあるが役員会と実行責任を共有できるような位置づけに改め、メンバーの参画意識と意義を高めたい。
- 全国大会時に開催する総会での審議を限られた時間の中で、より重要性の高い議題に多く時間を配分するなど、メリハリのついた運営に資するように代表者会議が総会の一部機能の代行を担うこととしたい。
- 特に報告事項は、十分な時間をかけて代表者会議において精査し総会に報告することとし、より精度の高い報告として壮年の皆様からの信頼を得て以降の施策に反映することができるようにしたい。

### 2. 総会との関連において代表者会議は次の役割を担う。

#### 総会と代表者会議の関係

	議案	総会での取扱	代表者会議の役割・機能
報告	活動報告	一括承認	精査し総会に報告 (総会機能の代行)
	決算報告	一括承認	
	監査報告	一括承認	
計画	活動計画	審議し承認	より良い提案として成案
	財務計画	審議し承認	
個別案件		審議し承認	

### 3. 運営にあたって

代表者会議が総会機能を代行する議案については、事前に教会・伝道所からの意見を徴集することが必須となる。このため資料を早期に配布することが必要であるが、併せて各壮年会長には自連合内の教会・伝道所に対し、該当議案の話し合いが漏れなく行われるように何らかのフォローをお願いすることとなる。但し、全国壮年会連合総会は、出席代議員個人の決裁に依っているもので、事前に連合内で統一見解をまとめることは不要とする。

#### <手順と総会までの日程の概略>

月	実施項目
4月	役員会は「報告」に関する資料を教会・伝道所壮年会送付する。
5月	教会・伝道所は資料をもとに話し合い、意見、質問事項をまとめ役員会に伝える。
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 役員会は、意見・質問事項をまとめ代表者会議メンバーに送付する。</li> <li>● メンバーは代表者会議に出席し、上記2.に基づき審議を行う。</li> </ul>
7月	役員会は、代表者会議の審議結果をまとめ大会資料に含んで、総会資料を全国の教会・伝道所壮年会に送付する。
8月	総会を開催

- 2017年度の代表者会議に提案し、出席者から意見をいただき、壮年会連合の2017年度・2018年度活動計画として総会に提案した。
- 2018年度はトライアルの位置づけとし、この運用を補強するための運用細則を作ったうえで2019年度以降に正式な運用としたい。

以上

## 議案 6

## 2017・2018年度 全国壮年会連合奨学金委員会活動計画（案）

### 《活動方針》

下記規程・運営規則・覚書に基づいた活動を諸教会、全国壮年会連合、日本バプテスト連盟理事会、西南学院大学神学部等との協働によって行う。

全国壮年会連合・連盟理事会との「覚書」	2008年8月2日締結
「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」 (略称：全国壮年会奨学金規程)	2016年8月20日改定
「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金委員会運営規則」	2000年9月16日発効
「専ら伝道の業に従事する者に関する規程」	2016年8月20日改定
神学校献金使途拡充による「覚書」(連盟と両神学校で締結)	2013年3月31日締結
全国壮年会奨学金の給付及び貸与額等に関する細則	2016年8月20日発効

### 1. 基本活動計画

- ①全国壮年会奨学金規程の所管事項第6条(1)～(3)による活動
  - \*業務計画・予算案・業務報告書・決算書を全国壮年会連合役員会(以下、役員会)へ提案・提出する。
  - \*奨学金の給貸与額・返還条件に関する基本方針を策定し、役員会へ提案する。
- ②同規程の所管事項第6条(4)～(5)による活動
  - \*奨学生の募集、選考、給貸与額・返還条件を決定する。
  - \*返還状況を確認し、遅滞者に督促する
- ③同規程の所管事項第3条2号、5条2項による活動
  - \*この制度の運営に関する年度の業務報告等を、役員会を経由し連盟理事会に報告する。
  - \*連盟理事会、西南学院大学神学部との協働を明確にして、活動を行う。
- ④貸与奨学金返還遅延者に関しては、連盟理事会、推薦教会と緊密に連携し対応する。
- ⑤「神学校献金の使途拡充の件」に伴う「連合立等神学校奨学金」に関する、連盟理事会からの受託業務。
- ⑥2016年度全国壮年会連合「伝道者養成・教会形成プロジェクトにおける『奨学金制度の充実』」からの提言を受けて検討を行う。

### 2. 奨学金委員会構成メンバー及び委員会の開催・出席

- ①構成メンバーと職務(委員の任期 2017年4月1日～2019年3月31日)

氏名	職務	所管する事項
篠田 裕俊	委員長	委員会の招集・議長、連盟・全国壮年会連合との調整 西南学院大学神学部との連絡調整に関すること
原田 陽一	返 還	奨学金返還管理に関すること(正) 遅滞者への督促等および推薦教会との連絡調整に関すること
鈴木 一弘	総 務	奨学金委員会で所管する規程に関すること 会議記録に関すること
北村 慎二	渉 外	奨学生の募集、選考に関すること 奨学生(在学学生)との連絡調整に関すること 財務(収支および資金管理)に関すること(副)
田口 清吾	会 計	財務(収支および資金管理)に関すること(正) 貸与者の記録管理に関すること 奨学金返還管理に関すること(副)
伊東 信吉	連盟担当理事	連盟理事会に関すること
天野 有	神学部長	西南学院大学神学部に関すること

◎委員会陪席 壮年会連合事務所職員

- ②奨学金委員会開催（2017年度）  
 第1回 2017年4月8日（土）  
 第2回 2017年11月18日（土）  
 第3回 2018年1月27日（土）又は2月17日
- ③壮年会連合役員会との合同役員会出席（2017年度）  
 第1回 2017年6月10日（土）  
 第2回 2018年3月3日（土）
- ④代表者等会議出席（2017年度）  
 2017年5月12日（金）～13日（土）
- ⑤西南学院大学神学部神学生との面談及び神学部教授会との懇談（2017年度）  
 第1回 2017年4月6日（木） 2017年度新入生との面談  
 第2回 2017年10月28日（土） 2018年度転編入学予定者との面談及び神学部教授会との  
 情報交換等
- ⑥宣研主催新任牧師・主事研修会 2018年3月上旬（役員会対応）  
 連盟との協働による壮年会連合の取組事項「伝道者養成の業」を通じて壮年会連合の働きをアピ  
 ール

### 3. 2017年度給・貸与奨学金

#### ①2017年度給・貸与奨学金状況 (奨学金貸与者)

種別	人数	奨学生（推薦教会）
博士後期2年	0	
博士後期1年	0	
博士前期2年	3	福久織江(函館)、三上 充(金沢)、元川信治(調布)
博士前期1年	2	永山辰原(福岡西部)、平野健治(大井)
神学専攻科	2	伊藤真嗣(相模中央)、遠藤光子(別府国際)
学部4年	3	川久保拓也(ふじみ野)、KANDEL JANAK(福岡新生)、杉本拓哉(宇都宮)
学部3年	3	小櫻 信(大阪)、高橋周也(東京花小金井)、西本詩生(東京恵泉)
学部2年	0	
学部1年	0	
選科3年	1	加山 献(新潟主の港)
選科2年	1	原田 賢(大宮)
選科1年	0	
神学部研修生	0	
合計	15	

(奨学金額)

奨学金の種類	奨学金額（合計）
1種奨学金（貸与）：校納金対応（授業料＋施設費＋教育充実費）	12,777,000円
2種奨学金（給付）：生活費対応等（寮費＋図書援助費等）	6,490,000円
総計	19,267,000円

\*奨学金総額の内、2,626,000円は2016年度に前払い金として西南学院大学へ送金済み

#### ②2018年度給貸与奨学金予定額（2017年度奨学金貸与者を参考に予測）

種別	人数	奨学金予定額	
博士前期2年	2	・1種奨学金（貸与）	15,050,000円
博士前期1年	3		
専攻科	1	・2種奨学金（給付）	7,580,000円
学部4年	3		
学部3年	4	合計	
選科	4	22,630,000円	
合計	17		

#### 4. 貸与奨学金返還についての取組み

##### ①返還金予測額

2017年度	3,500,000円
2018年度	3,000,000円

##### ②返還滞留者

滞留状況	2017年4月の状況	
	人数	未返還額
卒後10年以上経過 返還未完了	4名	3,847,000円
卒後5年以上 返還未開始	3名	1,044,600円

※奨学金規程第14条3項（奨学金返還の義務者が夫婦である場合、どちらか一方の返還まで残りの方の返還を猶予）による返還開始時期猶予の適用を受けた者を除く

※償却予定額を除いた実質返還要求額を計上

上記時点の未返還金額を指標として、以下の点に留意し返還業務を進める。

- \*新たな返還滞留者の発生を防ぐため重点管理をして行く。
- \*新たな返還滞留者の発生を防ぐため返還計画書の提出を神学部卒業生全員に対し求めているが、返還に対し自覚を促すためにフォローを徹底する。
- \*多様な機会を利用し、対象者と可能な限り面談の時を持つよう努める。
- \*神学生推薦教会との緊密な関係を保つよう努める。
- \*赴任先の定かでない卒業生に対し奨学金委員会との音信を絶やさぬよう、該当者に対し生活状況の報告を求める。

#### 5. 「伝道者養成・教会形成」プロジェクトからの提言に向けた取組み

各プロジェクトからの提言を受けて奨学金制度充実に向けて検討を行う。

2017～2018 年度 全国壮年会連合 活動カレンダー

年	月	全国行事・関連団体	役員会・奨学金委員会	
2017 年	4月	6日(月)西南学院大学神学部入学始業礼拝	6日(月)神学生との面談	
		7日(金)東京バプテスト神学校入学式		
		3日(月)九州バプテスト神学校入学式		
			8日(土)第1回奨学金委員会	
			14日(金)監査、15日(土)第1回役員会	
	5月	12日(金)13日(土)地方連合壮年会長等代表者会議		
	6月		10日(土)第1回役員・奨学金委員合同会	
		25日(日)～7月2日(日)神学校週間		
	8月	24日(木)神学校推進委員会議(天城山荘)		
		24日(木)～26日(土)第52回全国壮年大会・総会(天城山荘)		
	9月		9日(土)第2回役員会	
10月	28日西南学院大学神学部編入試験	神学生との面談(奨学金委員)		
11月		18日(土)第2回奨学金委員会		
2018 年	1月		27日(土)第3回奨学金委員会	
	2月		3日第3回役員会(土)	
	3月		3日(土)第2回役員・奨学金委員合同会	
		日( )西南学院大学神学部卒業感謝礼拝		
		日( )東京バプテスト神学校卒業式		
		日( )九州バプテスト神学校卒業式		
	4月	日( )西南学院大学神学部入学始業礼拝		日( )神学生との面談
		日( )東京バプテスト神学校入学式		
		日( )九州バプテスト神学校入学式		
				7日(土)第1回奨学金委員会
			13日(金)監査、14日(土)第1回役員会	
	5月	11日(金)12日(土)地方連合壮年会長等代表者会議		
	6月		9日(土)第1回役員・奨学金委員合同会	
		24日(日)～7月1日(日)神学校週間		
	8月	16日(木)神学校推進委員会議(東北連合)		
17日(金)～18日(土)第53回全国壮年大会・総会(東北連合)				
9月		8日(土)第2回役員会		
10月	27日西南学院大学神学部編入試験	神学生との面談(奨学金委員)		
11月		17日(土)第2回奨学金委員会		
2019 年	1月		26日(土)第3回奨学金委員会	
	2月		2日(土)第3回役員会	
	3月		9日(土)第2回役員・奨学金委員合同会	
		日( )西南学院大学神学部卒業感謝礼拝		
		日( )東京バプテスト神学校卒業式		
日( )九州バプテスト神学校卒業式				



議案7-1 2017年度全国壮年会連合一般会計修正予算(案)  
及び2018年度全国壮年会連合一般会計予算(案)

単位:円

収入の部	2016年度	2017年度		2018年度
	決算	予算	修正予算	予算
1連合会費収入	2,153,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000
2神学校献金繰入	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000
3利息・雑収入	4	0	0	0
4その他	212,512	0	0	0
収入計Ⅰ	4,565,516	4,400,000	4,400,000	4,400,000
前年度繰越金	333,083	233,083	366,457	229,457
合計Ⅲ	4,898,599	4,633,083	4,766,457	4,629,457

支出の部	2016年度	2017年度		2018年度
	決算	予算	修正予算	予算
1会議運営費	1,425,039	1,460,000	1,470,000	1,520,000
①代表者会議旅費	446,328	550,000	500,000	550,000
②役員会議旅費	159,190	150,000	150,000	150,000
③奨学金委員会旅費	439,538	400,000	430,000	430,000
④合同委員会旅費	379,983	350,000	380,000	380,000
⑤会議事務費	0	10,000	10,000	10,000
2広報活動費	747,036	815,000	815,000	815,000
①広報費	497,036	505,000	505,000	505,000
②活動費	250,000	310,000	310,000	310,000
3事務局費	1,898,979	1,855,000	1,992,000	2,132,000
①旅費交通費	302,740	240,000	※1 300,000	※1 440,000
②事務通信費	96,737	100,000	100,000	100,000
③事務費	66,944	43,000	90,000	90,000
④備品購入費	4,523	30,000	30,000	30,000
⑤事務職員費	1,232,135	1,230,000	1,260,000	1,260,000
⑥協力伝道献金	132,000	132,000	132,000	132,000
⑦支払手数料	63,900	80,000	80,000	80,000
⑧雑費	0	0	0	0
4特別委員会費	458,088	0	0	0
5予備費	0	270,000	※2 260,000	20,000
6その他	3,000	0	0	0
支出計Ⅱ	4,532,142	4,400,000	4,537,000	4,487,000
当年度収支差額Ⅰ－Ⅱ	33,374	0	△ 137,000	△ 87,000
次年度繰越金Ⅲ－Ⅱ	366,457	233,083	229,457	142,457
合計	4,898,599	4,633,083	4,766,457	4,629,457

※1 代表者会議出席の壮年会長、総会議長の日当含む。(2017年度修正予算、2018年度予算)

※2 プロジェクト小冊子、三つ折りパンフ作成代を想定。(2017年度修正予算)

**議案7-2 2017年度全国壮年会連合神学生奨学会計修正予算(案)  
及び2018年度全国壮年会連合奨学会計予算(案)**

**I. 神学校献金(神学生奨学会計)会計**

<収入>

単位:円

科 目	2016年度	2017年度		2018年度
	決 算	予 算	修正 予算	予 算
神学生奨学会計(実質基準)	22,352,285	24,500,000	23,500,000	24,000,000
返還奨学金	8,015,727	4,313,000	3,500,000	3,000,000
預金利息	8,330	14,000	9,000	9,000
その他	0	0	0	0
収入計	30,376,342	28,827,000	27,009,000	27,009,000
前年度より繰越金	110,585,360	109,574,360	112,889,702	114,838,702
収入 総計	140,961,702	138,401,360	139,898,702	141,847,702

<支出>

科 目	2016年度	2017年度		2018年度
	決 算	予 算	修正 予算	予 算
奨学金制度運営費用	27,232,000	26,216,000	23,740,000	24,350,000
東京バプテスト神学校奨学金支援費用	360,000	360,000	960,000	480,000
九州バプテスト神学校奨学金支援費用	480,000	360,000	360,000	480,000
支出計	28,072,000	26,936,000	25,060,000	25,310,000
次年度へ繰越金	112,889,702	111,465,360	114,838,702	116,537,702
支出総計	140,961,702	138,401,360	139,898,702	141,847,702

当年度収支差(収入計一支出計) 2,304,342 1,891,000 1,949,000 1,699,000

**II. 奨学金制度運営会計**

<収入>

科 目	2016年度	2017年度		2018年度
	決 算(案)	予 算	修正 予算	予 算
神学校献金(神学生奨学会計)会計より繰入	27,232,000	26,216,000	23,740,000	24,350,000
その他	0	0	0	0
収入合計	27,232,000	26,216,000	23,740,000	24,350,000

<支出>

科 目	2016年度	2017年度		2018年度
	決 算	予 算	修正 予算	予 算
神学生奨学金(当年度分)	22,406,000	20,077,000	16,641,000	17,731,000
(内訳)1種奨学金	14,576,000	11,690,000	10,151,000	15,050,000
(内訳)2種奨学金	7,830,000	8,387,000	6,490,000	2,681,000
神学生奨学金(翌年度分)	2,626,000	3,939,000	4,899,000	4,419,000
奨学金事務費(一般会計へ)	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000
その他	0	0	0	0
支出合計	27,232,000	26,216,000	23,740,000	24,350,000

**議案 8** 2018-2019 年度全国壮年会連合役員選挙に関する件

全国壮年会連合規約細則の第 23 条により選挙管理委員会を設置し、選挙管理委員長及び委員として、昨年総会で、以下が報告されています。なお、菊岡義修兄は、梅木芳昭兄の後任として、その任期の残期間を担当します。

	氏 名	地方連合	所属教会・伝道所
選挙管理委員長	曾根 基雄	南九州	児湯
選挙管理委員	山田 誠一	東京	大井
選挙管理委員	松田 裕二	中国・四国	道後
選挙管理委員	菊岡 義修	北九州	東八幡

(任期 2016 年 5 月代表者会議～2018 年 5 月代表者会議)

選挙管理委員長より、2018-2019 年度全国壮年会連合役員の内候補者を以下の通り報告いたします。

任期 2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

会長 立候補者	地方連合	所属教会・伝道所

副会長 立候補者	地方連合	所属教会・伝道所

監査 立候補者	地方連合	所属教会・伝道所

選挙により選出された会長より、以下の役員を指名、推薦いたします。

	氏 名	地方連合	所属教会・伝道所
事務局長			
会 計			
書 記			

**議案 9** 第 54 回（2019 年度）全国壮年大会開催担当地方連合の件

2019 年度は、神奈川地方連合に担当していただくことを提案いたします。

**議案 10** 2018 年度総会議長の件

全国壮年会連合規約細則第 18 条 1 号により、以下の通り 2018 年度の総会議長を推薦いたします。

2018 年度総会議長	地方連合	所属教会・伝道所

（任期 2017 年 8 月 26 日～翌年総会終了日）

【2014～2016年度神学校献金一覧】

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【北海道】	1	旭川	56,400	43,900	58,950
	2	旭川東光	18,000	17,400	18,750
	3	釧路	87,750	38,700	53,500
	4	帯広	64,500	40,500	55,000
	5	小樽	25,000	26,220	40,000
	6	札幌新生	0	0	0
	7	札幌	208,680	171,380	324,960
	8	リビングホープ	0	0	0
	9	西野	18,000	21,000	10,000
	10	平岡ジョイフル	10,000	10,000	10,000
	11	オープンドア	6,000	10,000	0
	12	平岸	10,000	18,000	0
	13	室蘭	13,300	26,200	41,298
	14	苫小牧	46,280	30,000	26,200
	15	函館	33,448	16,290	20,100
	16	函館美原	19,972	10,150	6,300
	北海道 小計			617,330	479,740
【東北】	22	青森	0	0	53,000
	23	カルハリー	0	0	0
	24	小松ヶ丘	10,000	10,000	10,000
	25	三沢	70,000	70,000	53,000
	26	八戸	26,000	20,000	13,500
	27	鮫	34,176	35,700	31,300
	28	盛岡	0	0	30,000
	29	秋田	23,500	16,500	37,000
	30	大富	110,000	116,000	84,000
	31	仙台長命ヶ丘	41,300	29,300	32,500
	32	南光台	26,500	21,000	9,000
	33	仙台	196,423	113,931	231,028
	34	山形	182,900	164,866	98,100
	36	福島旭町	9,000	0	10,000
	37	郡山コスモス通り	35,200	40,000	35,000
	38	あゆみの家	30,000	20,000	20,000
	東北 小計			794,999	657,297
【北関東】	44	新潟主の港	70,000	121,600	56,000
	45	太田	51,000	64,000	44,000
	46	宇都宮	170,000	150,000	200,000
	47	前橋	48,925	53,686	50,000
	48	高崎	118,095	108,404	100,084
	49	水戸	130,000	130,000	160,000
	50	東海	128,000	96,000	96,000
	51	日立	47,000	52,700	52,028
	52	筑波	150,000	150,000	150,000
	53	上尾	91,500	100,000	94,650
	54	大宮	181,792	198,522	112,267
	55	宮原	51,000	53,000	53,000
	56	浦和	508,724	446,583	511,877
	57	川越	70,000	70,000	60,000
	58	所沢	170,000	170,000	170,000
	59	飯能	16,000	13,000	16,000
	60	西川口	228,500	231,825	173,500
62	朝霞	0	0	0	
63	ふじみ野	55,500	50,500	60,000	
64	太田ビジョン	0	0	0	
北関東 小計			2,286,036	2,259,820	2,159,406

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【東京】	71	常盤台	100,000	460,000	380,000
	72	赤塚	284,000	282,000	294,500
	73	東京韓日	0	0	0
	74	志村	50,000	50,000	50,000
	75	蓮根	200,000	150,000	150,000
	76	板橋	0	0	0
	77	新東京	0	0	0
	78	東京愛のペアテスト	0	0	0
	79	目白ヶ丘	395,169	374,000	300,000
	80	茗荷谷	100,000	100,000	100,000
	81	東京北	84,971	72,855	36,381
	82	大泉	555,000	541,382	634,304
	83	東久留米	0	0	0
	84	新小岩	150,000	150,000	150,000
	85	篠崎	42,000	29,612	21,440
	86	市川八幡	243,277	219,100	212,200
	87	市川大野	75,000	75,000	75,000
88	船橋	20,000	40,000	18,500	
89	津田沼	0	0	0	
90	千葉・若葉	20,000	20,000	20,000	
91	千葉	90,510	109,010	106,010	
92	茂原	11,500	18,000	21,500	
93	富里	16,500	18,200	16,500	
94	栗ヶ沢	170,000	189,000	141,207	
95	花野井	72,000	51,645	45,612	
96	大久保	100,000	0	46,463	
97	中野	102,500	100,000	100,000	
98	三鷹	56,000	56,600	60,000	
99	仙川	58,750	70,850	85,400	
100	調布南	9,300	11,000	24,000	
101	調布	50,350	60,052	63,135	
102	府中	10,000	10,000	10,000	
103	花小金井	35,550	39,957	40,400	
104	立川	45,000	49,000	29,500	
105	日野神明	19,800	14,500	15,000	
106	秋川	0	0	0	
107	多摩ニュータウン	0	0	0	
108	八王子めじろ台	43,000	41,000	46,000	
109	昭島めぐみ	0	0	0	
110	福生	64,000	68,140	80,000	
111	関東プレインズ	0	0	0	
112	東京西	10,000	10,000	5,000	
113	青梅あけぼの	54,000	52,550	35,000	
114	ライフチャーチ	0	0	0	
115	東京	0	0	0	
116	恵約宣教	22,000	25,000	25,000	
117	渋谷	0	0	0	
118	幡ヶ谷	0	17,000	16,000	
119	恵泉	408,673	413,234	502,705	
120	泉	56,000	70,000	84,000	
121	品川	82,571	116,602	91,300	
122	大井	525,885	494,665	580,257	
123	東京第一	82,000	90,700	66,300	
124	経堂	31,000	32,000	35,000	
125	多摩川	104,424	99,793	72,512	
127	多摩みぎわ	20,000	20,000	0	
128	木更津			5,000	
東京 小計			4,670,730	4,912,447	4,891,126

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【神奈川】	132	川崎	311,000	316,420	320,324
	133	百合丘	206,485	252,290	204,463
	134	横浜ニューライフ	69,482	40,285	36,500
	135	横浜JOYハブテレスト	217,200	93,000	76,950
	136	青葉	93,800	70,000	60,000
	137				
	138	横浜大和(YBC)	0	0	0
	139	横浜戸塚	193,500	205,620	253,000
	140	洋光台	114,000	119,000	109,000
	141	鎌倉台	0	0	0
	142	港南めぐみ	43,000	43,000	43,000
	143	横須賀長沢	70,500	73,000	6,600
	144	藤沢	98,000	105,000	90,000
	145	湘南台	55,000	55,000	55,000
146	逗子第一	25,000	25,000	11,000	
147	平塚	120,000	110,100	90,000	
149	相模中央	400,000	400,000	400,000	
150	座間	2,000	2,000	2,000	
151	綾瀬小園	14,000	7,300	8,500	
152	ふじみ	202,067	200,000	180,000	
153	大秦野	40,000	10,000	20,000	
154	厚木国際	0	0	0	
神奈川 小計			2,275,034	2,127,015	1,966,337
【西関東】	160	松本蟻ヶ崎	48,251	36,400	40,738
	161	山梨	60,000	27,741	40,777
	162	富士吉田	113,500	100,000	100,000
	163	三島	111,000	58,000	100,000
	164	静岡	43,000	42,100	46,000
	165	清水栄光	8,103	7,400	15,000
	166	川根	20,000	20,000	30,000
	167	浜松	120,000	112,150	112,305
168	松本福音村	20,000	13,000	0	
西関東 小計			543,854	416,791	484,820
【中部】	174	金沢	150,000	155,000	155,000
	175	富山小泉町	21,100	32,000	28,000
	176	福井	0	0	0
	177	岐阜	100,000	66,767	45,211
	178	豊橋	204,582	193,030	197,708
	179	名古屋	150,000	150,000	150,000
	180	東山	10,000	10,000	13,000
	181	平針	10,500	5,000	0
	182	瑞穂	70,350	78,400	100,920
	183	南名古屋	60,000	74,452	30,000
185	愛知新生	0	3,000	0	
186	四日市	47,000	40,000	42,000	
187	各務原	6,500	0	0	
中部 小計			830,032	807,649	761,839

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【関西】	194	びわこシヤローム	0	0	0
	195	大津	0	0	0
	196	新田辺	0	0	0
	197	北山	0	62,100	38,000
	198	北白川	0	0	0
	199	京都	122,146	100,410	83,650
	200	京都洛西	10,000	0	0
	201	北大阪	152,000	152,950	145,500
	202	南千里	22,000	25,000	26,000
	203	東豊中	14,000	46,000	25,000
	204	大阪中央	0	0	0
	205	和歌山中央	0	0	0
	206	大阪	50,000	58,000	44,000
	207	大阪旭	0	0	0
	208	田辺	23,470	16,200	22,600
	209	平野	11,500	13,350	16,170
	210	シオンの丘	23,702	22,242	58,836
	211	東大阪	10,000	10,000	10,000
	212	堺	160,000	160,000	160,000
	213	関西黎明	10,000	5,000	17,000
	214	奈良	60,000	83,000	92,000
	215	和歌山	0	10,000	20,000
	216	豊中	0	0	0
	217	宝塚	95,000	54,221	62,500
	218	伊丹	0	69,000	0
	219	神戸新生	9,100	24,200	0
	220	尼崎	6,000	6,000	10,000
	221	浜甲子園	0	0	0
	222	神戸国際	0	0	0
	223	神戸	159,950	160,851	189,501
224	神戸西	150,000	150,000	150,000	
225	神戸伊川	45,000	51,000	55,000	
226	明石	0	0	10,000	
227	姫路城西	7,500	16,000	13,000	
228	鳥取	20,000	20,000	40,000	
229	須磨		0	0	
230	みさらぎ				
関西 小計			1,161,368	1,315,524	1,288,757
【中四国】	235	松江	0	0	0
	236	岡山	55,143	43,200	50,000
	237	福山	10,500	34,800	7,300
	238	呉	24,000	19,000	37,000
	239	緑の牧場	20,200	17,000	8,500
	240	広島	369,230	280,000	0
	241	江波	19,000	32,000	30,000
	242	広島西	20,000	20,000	20,000
	244	徳山	0	0	0
	245	高松常磐町	90,400	96,100	110,700
	246	高松太田	114,150	103,300	83,900
247	恵	85,810	97,100	88,210	
248	丸亀城東町	9,000	11,000	10,500	
249	徳島	30,000	20,000	20,000	
250	高知伊勢崎	58,415	56,770	33,100	
251	今治	0	31,500	15,000	
252	松山	78,000	66,000	68,000	
253	道後	30,000	40,500	30,000	
254	松山西	34,000	29,000	26,000	
255	八幡浜	10,000	5,000	10,000	
中四国 小計			1,057,848	1,002,270	648,210

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【北九州】	261	防府	30,000	34,000	35,000
	262	小野田	0	0	0
	263	下関	116,550	104,230	116,760
	264	門司	0	0	0
	265	門司港	80,000	80,000	80,000
	266	富野	0	0	30,000
	267	小倉	74,000	54,000	43,000
	268	南小倉	0	0	10,000
	269	シオン山	300,000	300,000	300,000
	270	豊前	40,000	43,000	31,500
	271	企救	172,350	307,990	196,473
	272	小倉春ヶ丘	0	26,000	23,150
	274	北九州	118,550	123,170	103,550
	275	若松	150,000	150,000	157,400
	276	高須	49,100	43,200	59,900
	277	八幡	57,000	53,000	50,000
	278	光	0	0	0
	279	東八幡	34,000	41,750	0
	280	枝光	0	0	10,000
	281	折尾	9,000	15,000	16,000
	282	芦屋	29,301	25,000	26,000
	283	中間	0	0	0
	284	直方	33,000	58,600	62,000
	285	飯塚	18,000	20,000	15,000
	287	荻田	20,000	30,000	24,000
	288	大分	168,655	125,000	141,200
	289	別府国際	54,300	29,850	33,100
290	臼杵	20,000	20,000	20,000	
北九州 小計			1,573,806	1,683,790	1,584,033
【福岡】	296	福岡	50,000	50,000	50,000
	297	自由ヶ丘	25,500	26,000	26,000
	298	古賀	100,800	112,000	103,200
	299	西戸崎	31,100	47,900	48,800
	300	香住ヶ丘	89,000	91,500	92,000
	302	東福岡	46,500	44,500	57,100
	303	博多	44,069	35,075	10,000
	304	那珂川	41,000	28,000	40,000
	305	福岡	94,000	125,500	124,000
	306	和白	15,000	20,000	25,000
	307	鳥飼	116,795	268,077	216,882
	308	西南学院	640,000	450,000	500,000
	309	福岡城西	83,400	37,344	55,203
	310	西福岡のぞみ	20,000	20,000	20,000
	311	福岡西部	64,500	94,000	87,000
	312	福岡ヘタニヤ村	58,000	33,000	39,000
	313	かたえ	27,000	20,000	20,000
	314	姪浜	171,287	160,537	165,490
	315	伊都	144,555	203,000	196,500
	316	野方	58,824	79,200	87,470
	317	早良	44,500	56,667	60,000
	318	福岡聖書	44,827	51,037	46,066
	319	田隈	128,033	130,000	130,000
	320	福岡有田	30,000	40,000	40,000
321	平尾	600,000	600,000	500,000	
322	福岡国際	12,000	15,000	13,000	
323	長住	250,000	250,000	250,000	
324	福岡新生	47,000	55,250	75,200	

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【福岡】	325	小郡	5,000	5,000	5,000
	326	粕屋	10,000	10,000	10,000
	327	宇美	10,000	10,000	10,000
	328	篠栗	91,000	95,000	82,000
	329	春日原	74,250	92,100	75,500
	330	筑紫野二日市	50,000	50,000	50,000
	331	福岡南	25,000	10,000	25,000
	332	筑紫野南	56,581	65,820	55,174
	333	鳥栖	34,000	0	77,480
	334	久留米	62,300	51,300	58,000
	335	久留米荒木	114,000	87,500	217,800
	336	杵岐	20,000	20,000	0
	337	福岡ジョイフル	1,000	1,000	1,200
	338	須恵	0	7,000	5,000
福岡 小計			3,630,821	3,648,307	3,750,065
【西九州】	343	佐賀	310,000	310,000	310,000
	345	壺水	31,500	0	24,700
	346	佐賀新生	60,000	60,000	0
	347	鹿島	0	0	0
	348	嬉野	54,900	60,000	50,000
	349	佐世保	290,000	290,000	290,000
	350	相浦光	75,000	91,000	75,000
	351	大村古賀島	44,000	85,500	66,000
	352	諫早	35,000	33,500	31,500
	353	長崎	200,000	190,000	208,901
	354	多良見	25,000	16,000	20,000
	355	富江	0	0	10,000
	356	福江	20,000	10,000	10,000
	357	大川	0	0	11,000
西九州 小計			1,145,400	1,146,000	1,107,101
【南九州】	362	大牟田	183,318	154,025	165,700
	363	有明	28,000	17,000	10,000
	364	菊池シオン	20,000	20,000	20,000
	365	熊本愛泉	25,000	22,500	25,000
	366	北九州新生	0	0	0
	367	山鹿	8,000	10,000	9,000
	368	八代	0	0	20,000
	369	種子島	0	0	0
	370	西原新生	10,000	0	10,000
	371	東熊本	73,000	70,000	57,000
	372	豊岡	9,000	10,000	21,000
	373	熊本南	10,000	10,000	10,000
	374	人吉	58,750	137,300	10,000
	375	延岡	6,500	12,000	0
	376	児湯	99,922	70,732	83,423
	377	高鍋	15,000	15,000	15,000
	378	宮崎丸山町	0	0	0
	379	宮崎	200,000	200,000	200,000
	380	青島	0	0	0
	381	都城	15,000	0	25,000
	382	国分	30,000	60,000	50,000
383	川内	0	78,692	0	
384	天草	0	0	0	
385	伊集院	100,120	85,482	46,900	
386	枕崎	5,000	5,500	22,000	
387	鹿児島	223,560	144,987	89,100	
388	大牟田フレンドシップ	17,400	25,000	20,000	
389	那覇新都心	16,000	21,500	30,000	
390	羊の群れ				
小計			1,153,570	1,169,718	939,123

【個人・団体等からの献金】

No.	氏名・名称	2014年度	2015年度	2016年度
401	MN兄	17,800	6,700	8,400
402	YI兄	10,000		
403	JT兄	8,000		
404	東京連合西地区	40,807		
405				
406	北関東連合壮年会	47,050	34,300	15,597
407	福岡連合壮年会	89,452	78,025	78,301
408				
409	第49回壮年大会	729,346		
410	日キ若松浜/町教会			
411	関西連合壮年会	41,441	41,900	44,100
412	中部連合壮年会	22,715	24,350	26,700
413				
414	沖縄連盟宮古教会		10,000	
415	日本基督教団若松浜	5,000	5,000	5,000
416	西南女学院			100,000
417	中四国地方連合壮年			18,500
418				
419	代表者会議昼食値引	490	380	350
420				
421	北九州連合女性会総			
422	バプテスト道東ブロック社4	10,110		
423	IJCSシンガポール国際日	10,000		
424				
425				
426	その他1件(匿名)		600	31,000
427				
428	第51回壮年大会		391,651	471,989
429				
430	紺田誠治郎			500,000
431	北九州連合壮年会	34,010	31,046	7,210
432	東京東ブロック幹事会	31,951	35,655	51,835
433				
個人・団体等 小計		1,098,172	659,607	1,358,982

【地方連合別 神学校献金納入状況表】

地方連合名	2014年度	2015年度	2016年度
北海道	617,330	479,740	665,058
東北	794,999	657,297	747,428
北関東	2,289,036	2,264,820	2,159,406
東京	4,670,730	4,912,447	4,891,126
神奈川	2,275,034	2,127,015	1,966,337
西関東	543,854	416,791	484,820
中部	830,032	807,649	761,839
関西	1,161,368	1,315,524	1,288,757
中四国	1,057,848	1,002,270	648,210
北九州	1,573,806	1,683,790	1,584,033
福岡	3,630,821	3,648,307	3,750,065
西九州	1,145,400	1,146,000	1,107,101
南九州	1,153,570	1,169,718	939,123
個人団体等	1,098,172	643,107	1,358,982
総計	22,842,000	22,274,475	22,352,285

【地方連合別 神学校献金納入教会数】

地方連合名	2014年度	2015年度	2016年度
北海道	14	14	12
東北	12	11	14
北関東	19	19	18
東京	42	42	42
神奈川	18	18	18
西関東	9	9	8
中部	11	11	9
関西	21	23	22
中四国	17	18	17
北九州	20	21	23
福岡	41	41	41
西九州	11	10	12
南九州	21	20	21
総計	256	257	257

\* 地方連合別連合会費納入状況および納入教会数

【地方連合別 連合会費 納入状況表】

地方連合名	2014年度	2015年度	2016年度
北海道	90,000	88,500	90,000
東北	99,000	84,000	69,500
北関東	253,500	268,500	252,000
東京	409,500	505,000	471,000
神奈川	265,500	228,500	228,000
西関東	52,500	57,000	36,000
中部	120,000	109,500	102,000
関西	130,500	141,000	106,500
中四国	103,500	111,000	60,000
北九州	144,000	141,000	130,500
福岡	319,500	359,500	381,000
西九州	55,500	78,000	108,000
南九州	141,000	129,000	118,500
過年度調整(会費)		16,500	
総計	2,184,000	2,317,000	2,153,000

【地方連合別 連合会費 納入教会数】

地方連合名	2014年度	2015年度	2016年度
北海道	7	8	7
東北	11	10	10
北関東	16	15	15
東京	27	28	25
神奈川	13	14	13
西関東	7	7	4
中部	12	12	11
関西	11	12	10
中四国	11	10	9
北九州	12	11	11
福岡	25	23	26
西九州	6	5	8
南九州	11	11	11
総計	169	166	160



### 【2014～2016年度連合会費一覧】

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度	
【北海道】	1	旭川	10,500	9,000	13,500	
	2	旭川東光	4,500	4,500	4,500	
	3	釧路	7,500	0	0	
	4	帯広	15,000	12,000	18,000	
	5	小樽	6,000	6,000	6,000	
	6	札幌新生	0	0	0	
	7	札幌	37,500	37,500	37,500	
	8	リビングホープ	0	0	0	
	9	西野	0	0	0	
	10	平岡ジョイフル	0	0	0	
	11	オープンドア	0	0	0	
	12	平岸	0	0	0	
	13	室蘭	0	0	0	
	14	苫小牧	0	7,500	0	
	15	函館	9,000	9,000	7,500	
	16	函館美原	0	3,000	3,000	
	北海道 小計			90,000	88,500	90,000
【東北】	22	青森	0	0	0	
	23	カルハリー	0	0	0	
	24	小松ヶ丘		0	0	
	25	三沢	6,000	7,500	0	
	26	八戸	6,000	6,000	4,500	
	27	鮫	0	4,500	4,500	
	28	盛岡	0	0	1,500	
	29	秋田	9,000	9,000	0	
	30	大富	9,000	10,500	10,500	
	31	仙台長命ヶ丘	7,500	6,000	6,000	
	32	南光台	4,500	0	0	
	33	仙台	22,500	22,500	19,500	
	34	山形	9,000	7,500	9,000	
	36	福島旭町	13,500	0	5,000	
37	郡山コスモス通り	7,500	7,500	6,000		
38	あゆみの家	4,500	3,000	3,000		
東北 小計			99,000	84,000	69,500	
【北関東】	44	新潟主の港	18,000	15,000	13,500	
	45	太田	7,500	7,500	0	
	46	宇都宮	13,500	12,000	0	
	47	前橋	21,000	22,500	18,000	
	48	高崎	10,500	12,000	10,500	
	49	水戸	0	43,500	27,000	
	50	東海	12,000	9,000	9,000	
	51	日立	6,000	4,500	4,500	
	52	筑波	34,500	34,500	34,500	
	53	上尾	7,500	0	19,500	
	54	大宮	13,500	0	21,000	
	55	宮原	6,000	6,000	6,000	
	56	浦和	51,000	45,000	36,000	
	57	川越	12,000	12,000	12,000	
	58	所沢	22,500	19,500	19,500	
	59	飯能	7,500	7,500	7,500	
	60	西川口	10,500	18,000	13,500	
	62	朝霞	0	0	0	
	63	ふじみ野	0	0	0	
	64	太田ビジョン	0	0	0	
	北関東 小計			253,500	268,500	252,000

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【東京】	71	常盤台	69,000	60,000	60,000
	72	赤塚	0	0	0
	73	東京韓日	0	0	0
	74	志村	7,500	7,500	7,500
	75	蓮根	15,000	19,500	15,000
	76	板橋	0	0	0
	77	新東京	0	0	0
	78	東京愛のバプテスマ	0	0	0
	79	目白ヶ丘	0	60,000	60,000
	80	茗荷谷	9,000	0	0
	81	東京北	0	33,000	16,500
	82	大泉	21,000	21,000	25,500
	83	東久留米	0	0	0
	84	新小岩	0	0	0
	85	篠崎	16,500	15,000	0
	86	市川八幡	10,500	12,000	12,000
	87	市川大野	13,500	13,500	12,000
	88	船橋	6,000	6,000	7,500
	89	津田沼	0	0	0
	90	千葉・若葉	0	0	0
	91	千葉	13,500	9,000	10,500
	92	茂原	0	0	0
	93	富里	0	0	0
	94	栗ヶ沢	15,000	15,000	15,000
	95	花野井	10,500	12,000	10,500
	96	大久保	12,000	10,500	9,000
	97	中野	0	7,500	7,500
	98	三鷹	0	0	0
99	仙川	0	0	0	
100	調布南	0	0	0	
101	調布	10,500	13,500	10,500	
102	府中	1,500	1,500	0	
103	花小金井	15,000	16,000	15,000	
104	立川	0	0	0	
105	日野神明	1,500	3,000	0	
106	秋川	0	0	0	
107	多摩ニュータウン	0	0	0	
108	八王子めじろ台	15,000	12,000	12,000	
109	昭島めぐみ	0	0	0	
110	福生	0	0	0	
111	関東プレインズ	0	0	0	
112	東京西	1,500	1,500	1,500	
113	青梅あけぼの	18,000	31,500	25,500	
114	ライフチャーチ			0	
115	東京	0	0	0	
116	恵約宣教	0	0	0	
117	渋谷	0	0	0	
118	幡ヶ谷	0	0	0	
119	恵泉	45,000	45,000	45,000	
120	泉	7,500	0	0	
121	品川	9,000	9,000	9,000	
122	大井	40,500	51,000	63,000	
123	東京第一	6,000	6,000	6,000	
124	経堂	7,500	6,000	6,000	
125	多摩川	12,000	7,500	9,000	
127	多摩みぎわ			0	
128	木更津				
東京 小計			409,500	505,000	471,000

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【神奈川】	132	川崎	40,500	25,500	30,000
	133	百合丘	28,500	20,000	28,500
	134	横浜ニューライフ	19,500	16,500	13,500
	135	横浜JOYハブテス	15,000	15,000	15,000
	136	青葉	0	0	0
	138	横浜大和YBC		0	0
	139	横浜戸塚	15,000	0	0
	140	洋光台	27,000	27,000	27,000
	141	鎌倉台	0	0	0
	142	港南めぐみ	6,000	6,000	6,000
	143	横須賀長沢	6,000	6,000	6,000
	144	藤沢	9,000	3,000	3,000
	145	湘南台	15,000	16,500	18,000
	146	逗子第一	0	0	0
	147	平塚	0	10,500	0
149	相模中央	45,000	45,000	45,000	
150	座間	0	0	0	
151	綾瀬小園	0	1,500	4,500	
152	ふじみ	31,500	30,000	27,000	
153	大秦野	7,500	6,000	4,500	
154	厚木国際	0	0	0	
神奈川 小計			265,500	228,500	228,000
【西関東】	160	松本蟻ヶ崎	3,000	0	0
	161	山梨	10,500	10,500	0
	162	富士吉田	0	12,000	0
	163	三島	10,500	7,500	9,000
	164	静岡	4,500	3,000	3,000
	165	清水栄光	4,500	7,500	7,500
	166	川根	1,500	1,500	0
	167	浜松	18,000	15,000	16,500
	168	松本福音村	0	0	0
西関東 小計			52,500	57,000	36,000
【中部】	174	金沢	13,500	13,500	13,500
	175	富山小泉町	7,500	7,500	7,500
	176	福井	0	0	0
	177	岐阜	15,000	10,500	7,500
	178	豊橋	15,000	15,000	15,000
	179	名古屋	22,500	19,500	18,000
	180	東山	1,500	1,500	3,000
	181	平針	6,000	4,500	4,500
	182	瑞穂	9,000	9,000	9,000
	183	南名古屋	16,500	15,000	16,500
185	愛知新生	7,500	7,500	0	
186	四日市	4,500	4,500	4,500	
187	各務原	1,500	1,500	3,000	
中部 小計			120,000	109,500	102,000

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【関西】	194	びわこシヤローム		0	0
	195	大津		0	0
	196	新田辺		0	0
	197	北山		0	0
	198	北白川		0	0
	199	京都		15,000	0
	200	京都洛西		0	0
	201	北大阪	12,000	12,000	10,500
	202	南千里		0	0
	203	東豊中		0	0
	204	大阪中央		0	10,500
	205	和歌山中央		0	0
	206	大阪	9,000	0	6,000
	207	大阪旭		0	0
	208	田辺		0	0
	209	平野		0	0
	210	シオンの丘	15,000	9,000	10,500
	211	東大阪		0	0
	212	堺	27,000	27,000	27,000
	213	関西黎明		0	0
	214	奈良	18,000	19,500	0
	215	和歌山		0	0
	216	豊中		0	0
217	宝塚	9,000	10,500	7,500	
218	伊丹		0	0	
219	神戸新生		0	0	
220	尼崎	3,000	3,000	3,000	
221	浜甲子園		0	0	
222	神戸国際		0	0	
223	神戸	18,000	19,500	22,500	
224	神戸西	10,500	10,500	0	
225	神戸伊川	4,500	4,500	4,500	
226	明石		6,000	0	
227	姫路城西	4,500	4,500	4,500	
228	鳥取		0	0	
229	須磨		0	0	
230	みさらぎ				
関西 小計			130,500	141,000	106,500
【中四国】	235	松江	0	0	0
	236	岡山	0	10,500	10,500
	237	福山	1,500	1,500	1,500
	238	呉	3,000	0	3,000
	239	緑の牧場	7,500	6,000	3,000
	240	広島	34,500	42,000	0
	241	江波	0	0	0
	242	広島西	4,500	4,500	0
	244	徳山	0	0	0
	245	高松常磐町	9,000	12,000	9,000
	246	高松太田	9,000	9,000	9,000
	247	恵	0	7,500	0
248	丸亀城東町	0	0	0	
249	徳島	7,500	0	0	
250	高知伊勢崎	10,500	10,500	10,500	
251	今治	0	0	0	
252	松山	0	0	0	
253	道後	9,000	7,500	6,000	
254	松山西	7,500	0	7,500	
255	八幡浜	0	0	0	
中四国 小計			103,500	111,000	60,000

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【北九州】	261	防府	0	0	0
	262	小野田	0	0	0
	263	下関	12,000	7,500	7,500
	264	門司		0	0
	265	門司港	13,500	13,500	12,000
	266	富野	0	0	0
	267	小倉	0	0	0
	268	南小倉	0	0	0
	269	シオン山	19,500	19,500	18,000
	270	豊前	0	0	0
	271	企救	0	0	0
	272	小倉春ヶ丘	0	0	0
	274	北九州	10,500	12,000	9,000
	275	若松	30,000	24,000	24,000
	276	高須	0	0	0
	277	八幡	6,000	6,000	6,000
	278	光	0	0	0
	279	東八幡	22,500	27,000	27,000
	280	枝光	0	0	0
	281	折尾	1,500	0	1,500
	282	芦屋	0	0	0
	283	中間	0	0	0
	284	直方	3,000	4,500	3,000
	285	飯塚	3,000	4,500	0
	287	苅田	0	0	0
	288	大分	16,500	16,500	16,500
	289	別府国際	0	0	0
	290	臼杵	6,000	6,000	6,000
	北九州 小計			144,000	141,000
【福岡】	296	福岡	9,000	9,000	9,000
	297	自由ヶ丘	6,000	7,500	4,500
	298	古賀	16,500	16,500	18,000
	299	西戸崎	9,000	9,000	10,500
	300	香住ヶ丘	13,500	22,500	21,000
	301				
	302	東福岡	0	0	0
	303	博多	0	0	0
	304	那珂川	7,500	7,500	9,000
	305	福岡	0	0	0
	306	和白	7,500	9,000	12,000
	307	鳥飼	0	42,000	21,000
	308	西南学院	52,500	48,000	48,000
	309	福岡城西	15,000	0	30,000
	310	西福岡のぞみ	0	0	0
	311	福岡西部	0	9,000	9,000
	312	福岡ベータニヤ村	15,000	15,000	15,000
	313	かたえ	0	0	0
	314	姪浜	15,000	15,000	15,000
	315	伊都	13,500	26,500	18,000
	316	野方	12,000	12,000	12,000
	317	早良	6,000	0	10,500
	318	福岡聖書	0	0	0
	319	田隈	9,000	9,000	9,000
	320	福岡有田	0	0	0
	321	平尾	30,000	30,000	28,500
322	福岡国際	0	0	0	
323	長住	19,500	19,500	16,500	
324	福岡新生	0	0	0	

連合	No.	教会・伝道所名	2014年度	2015年度	2016年度
【福岡】	325	小郡	0	0	0
	326	粕屋	0	0	0
	327	宇美	0	0	0
	328	篠栗	4,500	4,500	4,500
	329	春日原	19,500	18,000	18,000
	330	筑紫野二日市	9,000	9,000	9,000
	331	福岡南	3,000	3,000	4,500
	332	筑紫野南	16,500	16,500	13,500
	333	鳥栖	3,000	0	13,500
	334	久留米	0	0	0
	335	久留米荒木	0	0	0
	336	杵岐	0	0	0
	337	福岡ジョイフル	1,500	1,500	1,500
	338	須恵	6,000	0	0
福岡 小計			319,500	359,500	381,000
【西九州】	343	佐賀	30,000	30,000	30,000
	345	霊水	4,500	0	9,000
	346	佐賀新生		0	0
	347	鹿島		0	0
	348	嬉野		0	0
	349	佐世保	6,000	10,500	10,500
	350	相浦光	7,500	0	15,000
	351	大村古賀島	6,000	6,000	6,000
	352	諫早		0	0
	353	長崎		30,000	33,000
	354	多良見		0	0
	355	富江		0	0
	356	福江	1,500	1,500	1,500
	357	大川		0	3,000
西九州 小計			55,500	78,000	108,000
【南九州】	362	大牟田	13,500	13,500	13,500
	363	有明	0	3,000	0
	364	菊池シオン	13,500	7,500	7,500
	365	熊本愛泉	9,000	10,500	10,500
	366	北九州新生	0	0	0
	367	山鹿	0	0	0
	368	八代	0	0	0
	369	種子島	0	0	0
	370	西原新生	0	0	0
	371	東熊本	18,000	16,500	16,500
	372	豊岡	0	0	4,500
	373	熊本南	0	0	0
	374	人吉	6,000	6,000	6,000
	375	延岡	0	0	0
	376	児湯	21,000	21,000	16,500
	377	高鍋	0	0	0
	378	宮崎丸山町	0	0	0
	379	宮崎	0	0	0
	380	青島	0	0	0
	381	都城	6,000	0	3,000
	382	国分	12,000	10,500	10,500
383	川内	0	0	0	
384	天草	0	0	0	
385	伊集院	15,000	16,500	15,000	
386	枕崎	0	0	0	
387	鹿児島	19,500	15,000	15,000	
388	大牟田フレンドシップ	7,500	9,000	0	
389	那覇新都心	0	0	0	
390	羊の群れ				
小 計			141,000	129,000	118,500

\*連合会費の地方連合別納入状況および納入教会数は、献金実績表のまとめと同じページに記載しました。

# 全国壮年会連合39年の歩み

＜資料＞

周年	年	大会	場 所	参加 人数	神学校 献金額 (万円)	神学校 献金目 標額 (万円)	壮年 会員数	会費納 入者数	納入 比率	備 考
	1978	第13回	埼玉・所沢 湖畔荘	110	—	—	2421	—	—	連合発足総会
1	1979	第14回	静岡・天城山荘	64	550	400	2560			
2	1980	第15回	福岡・神学部	210	704	600	2694	213	7.9	
3	1981	第16回	東京バプテスト教会	180	898	800	2718	765	28.1	
4	1982	第17回	広島・広島教会	140	966	1000	2859			
5	1983	第18回	東京・常盤台教会	170	1075	1200	3032	1049	34.6	
6	1984	第19回	名古屋・名古屋教会	140	1225	1300	3106	1003	32.3	
7	1985	第20回	埼玉・浦和教会	166	1244	1350	3241	1203	37.1	
8	1986	第21回	福岡・西南学院	275	1340	1400	3300			
9	1987	第22回	東京・大井教会	300	1409	1450	3336	1363	40.9	
10	1988	第23回	京都・京都教会他	200	1460	1500	3391	958	28.3	
11	1989	第24回	福岡・西南学院教会	225	1491	1550	3424	1994	58.2	宣教100周年
12	1990	第25回	宮城・仙台教会	180	1603	1650	3518	1464	41.6	
13	1991	第26回	東京・常盤台教会	200	1724	1750	3613	1446	40.0	
14	1992	第27回	北海道・札幌教会	148	1698	1850	3643	1351	37.1	
15	1993	第28回	神奈川・川崎教会	200	1725	2000	3679	1536	41.8	
16	1994	第29回	福岡・西南女学院	230	1740	2100	3841	1309	34.1	
17	1995	第30回	埼玉・浦和文化センター他	280	1776	2800	3916	1222	31.2	
18	1996	第31回	香川・香川厚生年金会館	243	1930	2850	3987	1351	33.8	
19	1997	第32回	静岡・天城山荘	146	2013	2850	3982	1343	33.7	
20	1998	第33回	佐賀・ホテルはがくれ荘他	196	2011	2850	3861	1542	39.9	
21	1999	第34回	横浜・郵貯会館他	260	1928	2200	3930	1547	39.3	
22	2000	第35回	岐阜・羽島文化センター	250	2123	2400	3982	1652	41.5	
23	2001	第36回	埼玉・ラフレさいたま他	280	2137	2400	3972	1561	39.3	
24	2002	第37回	神戸市産業振興センター他	255	2252	2400	3972	1553	39.1	
25	2003	第38回	静岡・天城山荘	160	2226	2500	3970	1608	40.5	
26	2004	第39回	青森・古牧温泉Gホテル	200	2421	2500	4021	1596	39.7	
27	2005	第40回	静岡・天城山荘	160	2498	3000	4076	1671	41.0	
28	2006	第41回	鹿児島・東急ホテル	208	2446	3000	4054	1630	40.2	
29	2007	第42回	静岡・天城山荘	110	2480	3000	4076	1771	43.4	
30	2008	第43回	福岡・西南学院大学	620	2491	3000	4164	1708	41.0	神学部建学100周年
31	2009	第44回	茨城・つくば国際会議場	280	2411	3000	4203	1658	39.4	
32	2010	第45回	北海道・札幌教会	223	2325	3000	4248	1630	38.4	
33	2011	第46回	静岡・天城山荘	164	2346	3000	4230	1537	35.9	
34	2012	第47回	名古屋・ガスホール	278	2228	3000	4256	1543	36.3	
35	2013	第48回	福岡・西南学院大学	480	2292	3000	4150	1493	35.9	
36	2014	第49回	広島市文化交流会館	235	2284	3000	2601	1456	55.9	会員数算出基準変更
37	2015	第50回	東京・大田区産業プラザPIO 大井バプテスト教会	267	2227	3000	2546	1534	60.2	
38	2016	第51回	北九州・西南女学院 シオン山教会	397	2235	3000	2466	1435	58.2	
39	2017	第52回	静岡・天城山荘			3000				

## 西南学院大学神学部報告

西南学院大学神学部長 天野 有

### I. 学 生 (2017年8月24日現在、神学コースのみ)

#### 1. 2016年度卒業生 (大学院 2名、専攻科 1名、選科 3名、学部 5名)

種別	名 前	ふりがな	推 薦 教 会	備 考 (赴任先、進路)
博士後期3年	柏本 隆宏	かしもと たかひろ	福岡国際教会	単位修得退学
博士前期2年	広木 愛	ひろき あい	田隈教会	大井教会
	小川 紋子	おがわ あやこ	南光台教会	盛岡教会
神学専攻科	酒井 朋宏	さかい ともひろ	名古屋教会	別府国際教会
選 科	永松 博	ながまつ ひろし	野方教会	多良見教会
	宮田 祐亮	みやた ゆうすけ	富山小泉町教会	野方教会
	横濱 峰二子	よこはま ふじこ	札幌教会	鳥取教会
4年生	伊藤 真嗣	いとう まさつぐ	相模中央教会	本学専攻科進学
	遠藤 光子	えんどう みつこ	別府国際教会	本学専攻科進学
	酒井 信	さかい しん	緑の牧場教会	
	永山 辰原	ながやま ときはら	福岡西部教会	本学大学院進学
	平野 健治	ひらの けんじ	大井教会	本学大学院進学

#### 2. 2017年度大学院神学研究科神学コース入学生 (博士前期課程 3名)

種別	名 前	ふりがな	推 薦 教 会	備 考
博士前期(秋期)	永山 辰原	ながやま ときはら	福岡西部教会	学内進学者
	平野 健治	ひらの けんじ	大井教会	学内進学者
	伊原 幹治	いはら かんじ	福岡ベタニヤ村教会	社会人入学

#### 3. 2017年度 専攻科・学部3年次・研修入学者 神学コース新規のみ (専攻科 2名、学部 2名、研修生 1名)

種別	名 前	ふりがな	推 薦 教 会	備 考
専攻科	伊藤 真嗣	いとう まさつぐ	相模中央教会	学内進学者
	遠藤 光子	えんどう みつこ	別府国際教会	学内進学者
学部(3年次)	高橋 周也	たかはし ひろや	花小金井教会	学士入学
	西本 詩生	にしもと しなる	恵泉教会	学士入学
神学部研修生	諸岡 寛	もろおか ひろし	平尾教会	

## II. 教 員

### 教員の役職(2017年度)

役 職	任期	氏 名	役 職	任期	氏 名
神学部長	2年	天野 有	論集編集委員	1年	日原広志/G.W.パークレー
大学院研究科長	2年	金丸 英子	言語教育運営委員	1年	松見 俊
学院宗教局長	4年	松見 俊	情報処理センター委員	1年	片山 寛
宗教主任	1年	濱野 道雄	国際センター委員	1年	須藤伊知郎/金丸英子
学生主任	1年	濱野 道雄	一般教育委員	1年	日原 広志
学科主任	2年	日原 広志	寮運営委員	1年	濱野 道雄
大学院委員	2年	天野 有	神学寮寮監	2年	濱野 道雄
		日原 広志	学生相談室運営委員	1年	濱野 道雄
キャリアセンター委員	2年	天野 有	点検評価委員	1年	全 員
	1年	濱野 道雄	出版助成委員	1年	日原 広志
宗教部委員	1年	濱野 道雄	授業評価検討委員		日原 広志
図書館委員	1年	金丸 英子	聖書植物園運営委員		日原 広志
学術研究所委員	1年	日原 広志	国際化のためのWT		日原 広志

### Ⅲ. 行事 (2016年8月19日 第51回 全国壮年大会in北九州 以降)

- 2016年 8月 29日(月)～9月1日(木) 第4回キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から  
平和を考える学び合い(キリスト教人文学コース 3名)
- 9月 3日(土) 大学院神学研究科 秋期博士前期課程入学試験  
5日(月)～14日(水) ルワンダ第2回和解の現場・訪問ツアー(神学コース2名、人文コース1名)  
6日(火)～8日(木) 連盟 第2回理事会(須藤神学部長陪席)  
15日(木) 後期授業開始  
16日(金) 連盟・宣研・神学部3者協議(於 連盟)  
21日(水) 人文コース学生と教員の懇談会(後期)  
28日(水) 卒業、博士前期論文中間発表会(第1回)
- 10月 5日(水) 伝道者養成に関する協議会、神学教育協議会(於 本学)  
12日(水) 卒業、博士前期論文中間発表会(第2回)  
19日(水) カリキュラム懇談会  
22日(土) 第1回九州四地方連合壮年会長協議会(於 大分教会 須藤神学部長陪席)  
29日(土) 2、3年次転・編入学試験(専攻科、選科含む)  
31日(月) 神学部ミッション・デー(佐々木和之先生「引き裂かれた世界の和解と平和構築」)
- 11月 14日(月) 神学部ロングチャペル(何光滙先生)  
16日(水)～18日(金) 連盟定期総会(於 天城山荘)  
19日(土) 第2回奨学金委員会(於 連盟事務所 須藤神学部長出席)
- 12月 9日(金) 神学教育に関する委員会(於 連盟)  
27日(火)～1月5日(木) 冬季休暇
- 2017年 1月 6日(金) 後期授業再開  
14日(土) 第2回九州四地方連合壮年会長協議会(於 大分教会 須藤神学部長陪席)  
23日(月) 後期授業終了  
24日(火)～2月1日(水) 後期試験  
28日(土) 「伝道者養成・教会形成」プロジェクトに関する委員会、  
第3回奨学金委員会 (於 連盟 須藤神学部長出席)
- 2月 2日(木) 卒業・修了・修士論文発表会  
6日(月)～10日(金) 一般入試  
7日(火)～9日(木) 連盟 第3回理事会(於 連盟 須藤神学部長出席)  
24日(金) 大学院春期入試(博士後期)  
25日(土) 大学院春期入試(博士前期)
- 3月 10日(金)～11日(土) 神学校入学前研修会(於 連盟 講師:天野教授)  
21日(火) 大学卒業式  
22日(水) 神学部卒業礼拝
- (2017年度) 4月 3日(月) 大学入学式  
6日(木) 神学部始業礼拝、開講講演(片山教授)、ガイドダンス、奨学金面接、  
新入生歓迎会(神学寮にて:17～19時)  
8日(土) 第1回奨学金委員会(於 連名事務所 天野神学部長出席)  
10日(月) 前期授業開始、過越祭のセデル(於 神学寮)  
14日(金)～15日(土) オリエンテーションキャンプ
- 5月 13日(土) 新入生歓迎野外研修会(於 干隈跡地)  
17日(水) 卒業・修了・修士論文構想発表会1  
22日(月) 神学部ロングチャペル(マゴネット先生)  
24日(水) 卒業・修了・修士論文構想発表会2
- 6月 6日(火)～6月8日(木) 連盟第1回理事会(天野神学部長陪席)  
11日(主日) 関谷定夫先生(神学部名誉教授、元西南学院バプテスト教会他協力牧師)召天(91歳)  
15日(木) 学術研究所公開講演会(マゴネット先生)  
16日(金) 神学教育に関する委員会(於 本学)  
17日(土) 卒業予定者と常務理事の面談(於 神学寮)  
25日(日)～7月2日(日) 神学校週間
- 8月 23日(水)～26日(土) 第5回沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い

### Ⅳ. 行事予定 (2017年9月～)

- 8月 24日(木)～26日(土) 第52回 全国壮年大会in天城  
9月 11日(月)～14日(木) 神学連続公開講座(ベルトールト・クラッパート先生)  
14日(木) 神学部ミッション・デー(ベルトールト・クラッパート先生)

西南学院大学神学部 2017年度学生名簿(神学コース)

2017年8月24日現在

\*印は寮外生

学 年	在学番号		名 前	ふりがな	推薦教会	研修教会
1	博士 後期3年		城 俊 幸	たち としゆき	西戸崎教会	西戸崎教会 (牧師)
2	博士 前期2年		泉 選 也	いずみ えりや	野方教会	下関教会 (牧師)
3			福 久 織 江	ふくひさ おりえ	函館教会	福岡有田教会
4		*	三 上 充	みかみ まこと	金沢教会	高須教会
5			元 川 信 治	もとかわ しんじ	調布教会	福岡西部教会
6	博士 前期1年		平 野 健 治	ひらの けんじ	大井教会	姪浜教会
7			永 山 辰 原	ながやま ときはら	福岡西部教会	鳥栖教会
8		*	伊 原 幹 治	いはら かんじ	福岡ベタニヤ村教会	福岡ベタニヤ村教会
9	専攻科		伊 藤 真 嗣	いとう まさつぐ	相模中央教会	長住教会
10			遠 藤 光 子	えんどう みつこ	別府国際教会	鳥飼教会
11	4年生		川 久 保 拓 也	かわくぼ たくや	ふじみ野教会	早良教会
12			KANDEL JANAK	かんでる じゃなく	福岡新生教会	福岡新生教会
13			杉 本 拓 哉	すぎもと たくや	宇都宮教会	福岡教会
14			黄 善 楨	ふあん そんぢよん	(単立)福岡盤石教会	(単立) 福岡盤石教会
15	3年生		小 櫻 信	こざくら まこと	大阪教会	西南学院教会
16			高橋周也	たかはし ひろや	花小金井教会	福岡城西教会
17			西 本 詩 生	にしもと しなる	恵泉教会	姪浜教会
18	2年生		安 里 道 直	あさと みちなお	東風平教会(沖縄連盟)	東福岡教会
19	選科3年		加 山 献	かやま ささぐ	新潟主の港教会	早良教会
20	選科2年		原 田 賢	はらだ けん	大宮教会	春日原教会
21	神学部研修生		諸 岡 寛	もろおか ひろし	平尾教会	平尾教会

神学部神学科	専攻科	4年次	3年次	2年次	1年次	計
神学コース		4	3	1		8
選 科	1	1				2
専 攻 科	2					2
合 計	3	5	3	1		12

\*カリキュラム上、選科1年は学部3年次、2年は4年次、3年は専攻科にあたる

大学院神学研究科(神学コース)	博士後期3年	博士後期2年	博士後期1年	博士前期2年	博士前期1年	計
合 計	1			4	3	8

研究生・研修生		1
---------	--	---

<b>総 合 計</b>	<b>21</b>
--------------	-----------

2017年04月

東京バプテスト神学校 2017年度 専攻科生一覧

東京バプテスト神学校

1. 神学専攻科(7名)

氏名	推薦教会	備考
1 郭 淑 (カ シク)	厚木国際バプテスト伝道所	
2 澁谷和美 (シブ タニ カミ)	那覇新都心キリスト教会	
3 林 雄植 (ハ ユウシキ)	澁谷バプテスト教会	
4 中根 浄 (ナカネ ジョウ)	花小金井キリスト教会	
5 大野 夏希 (オノ ナツキ)	大泉バプテスト教会	
6 陳 ピルラン (チン ヒルラン)	茂原バプテスト教会	
7 芦沼 光雄 (アソノ ミツオ)	ふじみ野バプテスト教会	

2. 教会教育専攻科 (1名)

氏名	推薦教会	備考
1 田中宣之 (タナカ ノブユキ)	筑波バプテスト教会	

3. 教会音楽専攻科 (1名)

氏名	推薦教会	備考
1 澤田ルツ子 (サダ ルツコ)	千葉バプテスト教会	

九州バプテスト神学校 2017年度 牧師コース神学生一覧

九州バプテスト神学校

氏名	推薦教会	備考
1 香月太郎 (カキ タロウ)	早良キリスト教会	
2 田口圭子 (タノチ ケイコ)	長崎バプテスト教会	
3 中村聖架 (ナカムラ セイカ)	長崎バプテスト教会	
4 竹下由美子 (タケノタ ユミコ)	単立・なごみグレースチャーチ	
5 田口清吾 (タノチ セイゴ)	岐阜バプテスト教会	
6 飛永 孝 (トビノガ タカ)	日本バプテスト福岡城西キリスト教会	
7 後藤 寿 (ゴトウ ヒサシ)	各務原バプテスト教会	



## 分団 A

### 伝道者養成・教会形成プロジェクト「献身者を生み出す教会」について (提言)

「献身者を生み出す教会」プロジェクト  
リーダー 北村 慎二

#### 1. はじめに

中部地方連合壮年会長、関西地方教会連合壮年会長、中国・四国地方教会連合壮年会長は全国壮年会連合より、連合壮年会長の協力のもとで、伝道者養成・教会形成プロジェクトにおける「献身者を生み出す教会」をテーマとし、組織で、また個人で取り組むについて検討するよう依頼を受け、検討を行った。

当プロジェクトチームは2016年11月15日(土)、2017年1月14日(土)、2017年3月25日(土)の3回に亘って打合せを行ったほか、それぞれの地方教会連合での集会の場等でも本テーマについて話し合った。多様な観点からディスカッションが行われたが、最終的に以下の通り提言する。

#### 2. 「献身者を生み出す教会」となるために、下記のことを提言する。

各教会が「献身者を生み出す教会」について考える機会を持つことが重要と考える。そのためのたたき台として「献身者を生み出す教会マインドマップ」「献身者を支える壮年の祈り」を作成したので、活用いただきたい。

##### (1) 「献身者を生み出す教会マインドマップ」

「献身者を生み出す教会」について話し合う場合のテーマのポイントを概観すべく、マインドマップ(樹形図)を作成した。本来発想を豊かに展開して行くためのツールであり、自由に展開していただいてもよいものであるが、当プロジェクトで検討した主な内容を以下に記す。

##### ①種蒔き

献身の思いをもった原点を何名かの牧師に尋ねたところ、全国小羊大会や全国少年少女会などで仲間と出会い、献身の思いが芽生え、その後も仲間との交

流が続く中で、祈り祈られ、自分の進路を決める時に具体的な献身の思いが与えられた、というお話を多々伺った。種を蒔かれるのは神さまであろうが、種を蒔いてもらうために全国大会等に若い人たちを派遣したい。そのために壮年も子ども・少年少女・青年たちによく接し、全国大会への参加を勧めたり、引率役・リーダー役を引き受けたりして積極的に関わって行くことが必要ではなかろうか。

また子ども・少年少女・青年たちは教会の中で牧師に対してある種のあこがれを持つこともあると思う。しかし牧師個人だけではなく、牧師と信徒がどのような関係になっていて、信徒が牧師をどのように支えているかということを感じてみるのではなかろうか。牧師と信徒の関係がうまく行っていなければ、自分が牧師になろうとはなかなか思えないのではあるまいか。壮年が喜んで牧師を支えている姿、これを見て子ども・少年少女・青年たちは献身への思いが触発されるのではないだろうか。

## ② 献身の思い

教会では「信仰告白の勧め」はするが、「献身の勧め」をすることはあまり行われていないように思う。礼拝の中で「献身の勧め」のメッセージや祈りのときを持つことや献身についての研修会を開催するなどといった取り組みも必要ではないだろうか。

また教会内から献身者が現れたら両手を挙げて喜び、送り出すということになりがちであるが、献身者を本当に献身者として送り出してよいかの吟味をしっかりとすることも必要ではないか。牧師としての適性を人間的な目で的確に判断できるわけではないが、他人の目というものが参考になることも事実。召命は個人に属する事柄ではあるが、教会として推薦して送り出すわけで、その意味で教会としての召命も問われていることを忘れてはならない。才能溢れた人でないと牧師になれない、というのではないが、「ひとりよがりの召命」になっていないか、教会としてチェックし、牧師として大成するためにはこのような点を心がけたほうがよいといった教会員からのアドバイスに真摯に耳を傾け、教会員も真摯にアドバイスできるような関係性をもって送り出し、繰り出した後も、祈りに覚え、情報を交換し、奨学金等で支え、しっかりと関係を保つ。

言わば教会として献身する思いをもって、献身を教会の出来事とすることである。

### ③ 献身することの不安と寄り添う壮年

献身に思いを馳せても、献身の先に待ち受けているさまざまな不安の存在が献身の決意の妨げとなるように思う。自分は牧師として相応しいかどうか、一体どのような教会に招聘されるのか、給与面・生活面では大丈夫だろうか、赴任先の教会における人間関係はどうだろうか、など果てしない不安がつきまとう。牧師とはどういうことをしている人かは身近に見ているわけではあるが、各個教会主義のバプテストでは隣同士の教会であっても結構違いが大きいものである。そんな中に飛び込んで行くには幾分かの不安を軽減できないとなかなか決断はできないのではなかろうか。

そんな不安に理解を示し、みんなで祈り、支えて行き、一生涯かけてサポートするぐらいの気概が大切である。それゆえ教会としての献身が必要なのであるまいか。

また牧師とて人間なのであるから失敗することもあるし、完全無欠な人間でないと牧師になれないというわけではない。「艱難辛苦に負けない立派な牧師像」だけでは若い人は牧師になろうという気持は萎えてしまうのではないだろうか。

一方で、牧師を育てる熱心のあまり、自分の思う枠組みにはめて育てようとするのもまた危険である。完全無欠な牧師を作ろうと思わないほうがいい。欠点とみなすか個性とみなすかは紙一重である。教会には過去の傷を負ったいろんな人が来るので、広い心で受容する力がないと牧会としてはうまく行かないのではないか。赦された罪人という基本を見失ってはならない。

### ④ 牧師の多様なパターンとチームでの牧会

人口の減少と超高齢化社会の到来により、教会の今後の財政的側面には厳しいものがあると思われる。その中でこの程度の牧師給しか払えません、と申し分けなく思いながら牧師を招聘しなければならない教会が増えて来るであろう。しかし卑屈になるのではなく、多様な牧会のタイプを考えてみてはどうだろうか。別の職業を持った兼業牧師、会社をリタイアした後に牧師となる年金牧師、複数教会を兼務する兼牧牧師などの形も想定される。もちろん様々な課題があ

るが、そのような牧会を可能にするためには、信徒が牧師の役割の一部を分担するチームでの牧会が不可欠である。万人祭司を標榜するバプテスト教会ならではの強みを用いる時ではなかろうか。またこのような仕組みは試行錯誤をしながらやっ行ってかざるを得ないので、やってみて出て来た課題を共有し、また連合や連盟などにも情報発信をし、P D C Aのサイクルをまわすことも大切だと思われる。

安心して牧師になってもらうための仕組みのひとつとして、サポートセンターの設置も検討課題と思われる。例えば各地方教会連合単位でサポートセンターを設立し、人材派遣センター、事務業務のアウトソーシングセンター的な役割を請け負うものである。退職者など時間的にゆとりのある者を中心に登録し、例えば草刈り応援、ペンキ塗り応援、礼拝説教者派遣、こどもプログラム実施者派遣、聖歌隊派遣、讃美指導、会堂修繕派遣、建築技師派遣、電気技師派遣、経理業務請負、印刷物請負、パソコンコーチ派遣、記念誌作成応援などを行う。会社を退職した人の活用は退職者の新たな生きがいを提供することにもなり、教会の奉仕者不足にも対応することができる。センターと言っても実在の場所を設けずともインターネット上で情報をやり取りすることも可能ではないか。またサポートセンターへの登録という新しい献身の道を提供することになり、退任牧師もこのサポートセンターに登録することで退任後も様々な関わりを持ち続けることができ、一生献身者としても道を歩むことができるのではあるまいか。

## ⑤ 寄り添う壮年

牧師と信徒の関係でさらに言うと、寄り添う関係ということが求められているのではなかろうか。支える、支えられるという関係性もあるが、どちらかが支援するのではなく、寄り添う。自分も一緒になって楽しみたいから、奉仕したいから、悩みたいから、労苦したいから「寄り添う」。上からでもなく、下からでもなく、横から寄り添うのである。上位下達の組織文化で育まれた壮年にとって寄り添うことは案外難しいかも知れない。それゆえ壮年こそが率先して「寄り添う」努力をすることが必要である。牧師に寄り添う、こどもたちに寄り添う、地域の人に寄り添う、諸集會に寄り添う。初めは煙たがられるかも知れない。ぎこちないかも知れない。しかし寄り添うのである。実にイエスさま

は私たちに寄り添ってくださったのではあるまいか。寄り添う壮年となりたいものである。

## (2) 「献身者を支える壮年の祈り」

私たちの力で献身者を生み出すことができるわけではないが、神さまは私たちの働きを通じて献身者を生み出そうとされるかも知れない。そこで「フランシスコの平和の祈り」にヒントを得て、「献身者を生み出す壮年の祈り」なるものを試作してみた。この祈りをアレンジして、各教会・各自で献身者のことを覚えて祈っていただければ幸いである。

以 上

伝道者養成・教会形成プロジェクト

「献身者を生み出す教会」

プロジェクトメンバー

今井 公彦（中部連合）

北村 慎二（関西連合）

松田 裕二（中国・四国連合）

大城戸一彦（全国壮年会連合）

## 「献身者を生み出す壮年の祈り」

(「フランシスコの平和の祈り」バージョン)

主よ、わたしをあなたへの献身者を生み出す道具としてください。

「不安」のあるところに、ひとりでないからと寄り添う心を与えてください。

「恐れ」のあるところに、みんなで祈り合い、励まし合う、執り成しの祈りを置かせてください。

「不完全」の思いのあるところに、一緒に整えられていく恵みを求めさせてください。

「疑い」のあるところに、牧師と協働する姿を通して、信頼を得させてください。

「絶望」のあるところに、「希望」を置かせてください。

「暗闇」のあるところに、一緒に「光」を求めるものとしてください。

「悩み」のあるところに、一緒に分かち合い、主の導きを祈るものとしてください。

主よ、人を促すよりも促され、力づけるよりも力づけられて、

自分を献身の決意を求めるものとしてください。

なぜならば、与えることで受け取り、小さなものとなることでかえって見いだされ、

ひとの良さを認めることで自分に良さが備えられ、

自分の身をささげることで永遠の命に与ることとなるからです。

プロジェクト  
「献身者を生み出す教会」  
(献身の種を蒔き、寄り添う壮年)

神学校・神学部での学び

神学校・神学部での学びと寄り添う

祈りの輪を拡げる

教会が寄り添っていることを常に知らせ続ける

献身することの不安

自分は牧師に相応しいか

どんな教会に招聘されるだろうか

給与面は大丈夫だろうか

赴任先の教会員とうまくやって行けるか

社会人経験なく牧師に

一定の社会人経験を経て牧師に

夫婦で牧師に

会社を早期退職後牧師に

定年退職後牧師に

副業を持ちつつ牧師に

複数の教会を掛け持つ牧師に

協力牧師に

教会学校での楽しさ

全国こひつじ大会へ怒り出す

全国少年少女大会へ送り出す

全国青年大会へ送り出す

牧師の姿

牧師を支える信徒の姿

牧師と信徒の関係性

和らげたい

若い頃の体験や思い

教会での姿

いのちの育ち

様々な視点

「牧師職」に対する理解

「牧師」についての学びの機会

牧師と信徒の関係がどう映っているか

献身者は献身者ひとりの思いだけでは足りない

献身者を切に求める祈り

献身者として責任を持って送り出せるかの吟味

祈り

奨学金

寄り添う

送り出した後のサポート

みんなで祈り合い・支え合い・励まし合い

悩みの共有

寄り添う心

ひとりではないから

完全ではないから

完全無欠の人間はいない

「欠点」を「個性」として育てて行く

欠点を補い合える関係

主がすべてを整えてくださる

完全無欠の職務を分担し、チームで教会

チームで教会

寄り添う

牧師を孤立させない

牧師との信頼関係を築く

連合単位等でのサポートセンターの仕組み

賜物の活用

女性での献身

自分自身を身を振り返り、新たな献身に導かれる

何歳であっても

忙しい時こそ

「献身者が生み出されるように」との祈りを教会員が分かち合う

喜んで寄り添う

牧師に寄り添う

信徒に寄り添う

地域に寄り添う

連盟・連合等の活動に寄り添う

職場の仲間に寄り添う

もっと献げる

もっともつと遊ぶ

新来者ともつと交わる

時間

お金

贈物

社年の祈り

プロジェクトメンバー  
今井 公彦 (中部連合)  
北村 慎二 (関西連合)  
松田 祐二 (中国・四国連合)  
大城戸 一彦 (全国壮年会連合)

## 分団 B

### プロジェクト新任牧師と協働する教会報告 ～新任牧師が早期に辞任（離職）する事象を捉えて～

報告者 北九州地方連合  
梅木芳昭（大分）

開催日 2016年10月22日（土）11:00～14:10

2017年1月14日（土）11:00～14:15

場所 大分キリスト教会

出席者 北九州・梅木芳昭兄（大分）、福岡・三室日郎兄（西南学院）、西九州・中島（大川）  
南九州・曾根基雄（児湯）

陪席者 須藤伊知郎先生（西南神学部）、井伊肇兄（全国壮年会連合書記）、村田悦牧師（大分）  
齊藤弘司（北九州宣教支援センター・記録）、川内光（福岡地方連合会長）

#### 1 経過

2回の協議と1度のシンポジウムを九州四地方連合主催、神学部共催で行いました。

2回目の協議の際に主題である「新任牧師と協働する教会」がほとんど協議されずに副題の「早期に辞任」ばかり協議されたので主題に添い「新卒牧師を迎える教会の協働」と題を変え九州四地方連合主催でシンポジウムを開催いたしました。

#### 2 内容

##### 1 発題：梅木芳昭

第1回目協議の際に、全国壮年連合ニュース 86,87,88号「バプテストにおける伝道者養成」、松見享子宣教研究所員研修会講師の（きたかん壮年会研修会、記事）で全国に配布されたもので、皆さまの知ることから記載いたしました。

【要約】2010～2014年新任牧師で連盟諸教会に赴任した2割が辞任、更に5年さかのぼっても大体2割の辞任、1年以内の辞任の増加とあります。課題として5つを上げています。

（注・正式資料ではない、牧師就任前研修受講者のみ資料のため）

- ① 「バプテスト理解の課題」
- ② 「コミュニケーションの課題」
- ③ 「献身理解の課題」
- ④ 「神学する力」の弱まり
- ⑤ 「伝道者を育てる教会の課題」

・牧師になると決心して“2割が辞任する現状”は何が原因か、壮年は分析する必要があると思います。

##### 2 発題：村田悦牧師（大分）「新任牧師の働きを通して気付いたこと」

- 1) 新任牧師と教会の協働は、2013年度の神学部ミッションデーのテーマであった。
- 2) 大分教会でのここ2～3年の歩みを通して、対話することの大切さを思わされている。



- 3) 対話のAspect・・・来会者との対話／神学との対話／聖書との対話／聞き手との対話
- 4) 毎週の礼拝も、牧師が講壇から一方的に語るだけでは宣教にならない。
- 5) 牧会上における日々の出会い、相手との関係が、語る言葉に大きな影響を与える。
  - 着任当初と今とでは、聖書を語る言葉が変わってきていると思う。それは聴衆が一番気付かされているのではないか。
- 6) 牧師と信徒との信頼関係 どちらも一方的ではない。
  - お互いに要求するだけでなく、いかに関係性を構築することができるか。

3 須藤伊知郎先生（西南神学部）「新任牧師と協働する教会」伝道者養成の現場から  
 ここ 10 年以内に西南神学部を卒業（修了）して、専ら伝道の業に従事する働きに就いた者は 77 名。そのうち 3 年以内に辞任した者は 14 名（14 名中 6 名は次の奉仕先に赴任している）。 $14 \div 77 = 0.182$  10 年以内の卒業者に占める早期辞任の割合 18.2%

- ・課題は大きく分けて、以下の 4 つに分類できる。
- 1) 赴任する者の課題と赴任先の教会の課題
  - ・赴任する者の課題 召命観が不確か。コミュニケーションを取るのが苦手。
  - ・赴任先の教会の課題 共に育つという視点の欠如。律法的に裁いてしまう。
- 2) 献身者としての自覚／送り出す教会の姿勢
  - ・自己実現が目的である場合、赴任先で行き詰まるケースが多い。  
献身者本人の自己実現／推薦した牧師の自己実現
  - ・推薦教会の自覚があるかどうか。  
神学校に送り出して終わりではない。献身を問い直していく役割がある。
- 3) 神学的な不一致
  - ・赴任先の教会が求める牧師像や教会観が合わない場合、なかなか続かない。
  - ・場合によっては辞めた方がお互いのためによいこともある。  
→ 赴任する時点でのすり合わせが大切。
- 4) バプテスト教会の在り方・理解の問題
  - ・バプテスト教会は任命制でなく招聘制  
→ 教会・伝道所が、形式上は雇用主になっている。
  - ・「牧者」を招聘するという視点が大切  
→ 私たちが雇っているという発想では、牧者を立ててはいえない。  
教会員一人一人も神様から派遣されているという意識を持っているかどうか。

### 3 発題についての応答

- 1) 新任牧師の早期辞任という事象について
  - ・早期辞任の背景に、教会を支えようとしなない・育てようとしなない壮年の課題があるのではないか。
  - ・招聘してから「こんなはずではなかった」と言うような問題が生じてしまうと、継続が難しくなる。
  - ・会話が少ないことによって誤解が生じることもある。対話することが大切。
  - ・教会を生み出すスピリットを持った献身者が出てきて欲しい。

- ・牧師の任期制について、3年～5年で何ができるのかという問いが諸教会の中に生まれてきている。  
(任期制を外す教会も出てきている。)
- ・牧師の側から任期の問題を切り出されて、信頼関係が揺らいでしまう場合もある。

#### 4 結び

- 1) 「新任牧師と協働する教会」のプロジェクトは簡単に言える事柄ではなく早期辞任の背景に、教会を支えようとしないうち・育てようとしないうちの課題があるのではないかと考えるべきではないかと思えます。
- 2) 新任牧師が早期に辞任（離職）する事象は新任牧師に限られません。教会をはじめ多くの方が傷つきます。そのことが神学校献金に当然、影響してくることは明白ですね。壮年の課題と言えます。
- 3) 牧師になると決心して“2割が辞任する現状”は何が原因か、壮年は分析する必要があるのではないのでしょうか。

※「新任牧師と協働する教会」のプロジェクトは簡単に提言できる内容ではありません。これから色々な機会に協議されることを希望します。

#### 5 新卒牧師を迎える教会の協働シンポジウム報告

開催日 2017年3月20日（月・休）13:00～16:00

場所 西南学院バプテスト教会、参加者 75名、会費 500円

※（全国壮年連合より活動費5万円を頂く。）

発題者 須藤伊知郎神学部長、村田悦牧師、梅木芳昭、加藤誠牧師

（2回の新任牧師と協働する教会プロジェクトを発題とした内容は省きます。）

**発題1**：須藤伊知郎神学部長

- 1) 実践神学のだ真ん中の問題です。
- 2) 自己実現が目的の場合（夢を叶えたい、立派な牧師になりたい）行き詰まる。
- 3) 推薦した教会は問い続ける。
- 4) 未熟な者が来る（即戦力を求めてしまう。育つのを待つ。）

**発題2**：村田悦牧師「なぜ私が、3年間、牧師として立つことができたのか」（大分教会就任3年目）

- 1) 頑張ったというより頑張らなかつたから、助けられることの大切さ。（土曜日の庭清掃の際、まだ説教準備ができてなかつたら、清掃はよいから準備するように言われた。（この赦しがあるからこれまでこれた。）牧師も出来ることと、できないことで出会わされることがある。弱さ、欠けで教会が形成される。
- 2) 弱さを力に。（出来ないことも大事。解放される。）
- 3) 立てられてこそその牧師。（就任後に按手の学びで何を委託かはっきりできた。神によって、大分教会に立てられた。）
- 4) 相談相手。（良き相談相手がいる同期の者、先輩、と家族が居ることで教会の関係が良くなる。）
- 5) 継続研修。（神学校卒業してから新しい学びのスタート、西南神学部、九バプは研修の機会を与えてくれる。）

### 発題3：梅木芳昭（大分教会員）

プロジェクト 2 回の報告をして、新卒牧師を迎える教会の協働で村田悦牧師を迎えるまでの経過と大分教会の状況・特徴から、村田牧師の特徴を発題いたしました。

- 1) 経過。西南学院大学神学部報 50 号記載の「私の教会像」村田悦神学生の記事が大分教会の求める教会像と一致して第一候補となって交渉に当たりました。
- 2) 大分教会信仰告白 2011 年、ミッションステートメント 2013 年作成できたことは牧師招聘時の教会姿勢を示すのに役立った。
- 3) 村田牧師就任後「子供礼拝」を始められ、特伝には新聞折り込み、ポスティングを始める事ができた。
- 4) 特徴。50 歳代が 80%を占めます。（平均年齢 63 歳、現状分析に「教会診断プログラム」を用い現状分析と将来目標を立てて行きたいと思っています。  
※「教会診断プログラム」は北九州地方連合・宣教支援センター中心に作成したもの。
- 5) 祈祷会。聖書の学びの参加者が多く求道者を含め 15 名前後（現会員 57 名）楽しみです。

### 発題4：加藤誠牧師「バプテスト教会」になりたい。

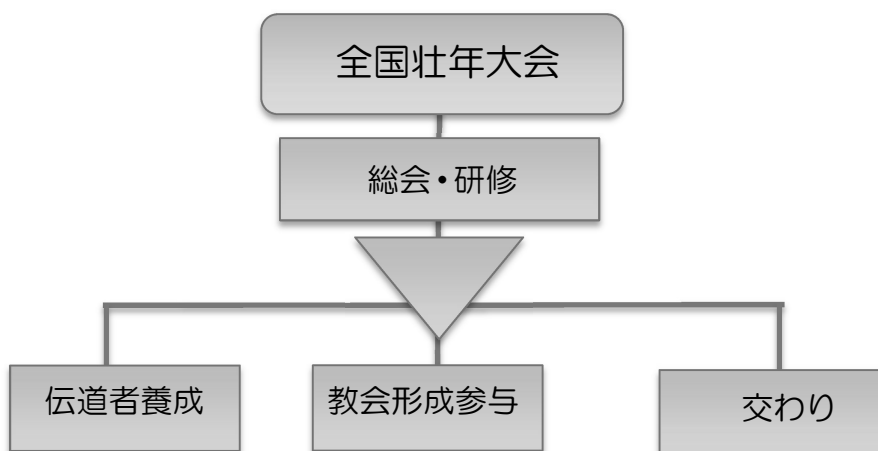
序、「新卒牧師」を迎える機会、貴重な学びの機会！

- 1) 「バプテスト教会」になりたい。
  - ・組織として一番めんどくさい：自分の意見が通らないことを喜ぶ。
  - ・自由だが、一人ひとりの主体的意思を尊重するゆえに、運営が大変な組織。  
⇒教会員一人ひとりの継続的学びと成熟が求められる。
  - ・成熟？ … 不断の意識化、忍耐、み言葉と祈り  
⇒教会はあっという間に「楽」な方向に流れる。「楽」だと思ったら黄信号。
- 2) 牧師の招聘
  - ・新卒牧師を迎える：大変であるけれど良いチャンス機会：教会がバプテストになっていく。（皆で学んでいこう）
  - ・「教会の主体的決断（継続的祈り）＋牧師自身の召命」によって成立  
⇒招聘「前」の学び、招聘「後」の学びと点検：学び続ける。  
⇒一人ひとりの言葉になっていくには、時間がかかる！
  - ・牧師の召命は常に教会の吟味を受けるが、同時に教会も吟味を求められる。  
⇒祈祷会、礼拝に出てい教会員の「批判（非難）」は「評価」とは言わない。
- 3) 牧師の仕事
  - ・失敗をしながら、生涯学び続ける仕事。
  - ・「10 年、20 年経験したから大丈夫」はない。自分をどう崩せるか。
- 4) 教会員（執事）と牧師の協働
  - ・互いの働きを尊び合う「祈り」：牧師には何を、まず自分たちが立つ。
  - ・どんなことも「教会形成」の材料にする。面白い！ユーモア！
  - ・大きなところで一致して、小さなことは自由に、すべては愛をもって。
  - ・違うからこそ「共に」。その「共に」は聖霊の働きのなしに成り立たない！

夏の全国壮年大会から10ヶ月で2回の協議と新卒牧師を迎える教会の協働シンポジウムを九州四地方連合主催、神学部共催で開催できましたこと感謝し報告させていただきます。新任牧師と協働する教会は「私たちバプテスト」の基本的問題である。「牧師の招聘と教会形成」を学びましたが、壮年が中心に立ち「神学生を育てる責任」を強く感じます。 在主。

## 分団C 「全国大会開催の方法」(壮年大会をデザインする)

### 1. 全国壮年大会を理解してね



#### 質問です

これまでの全国壮年大会は面白かったでしょうか。  
ためになりましたか。  
また来ようと思いましたか。  
美味しいものはありましたか。  
新しい発見はありましたか。  
若い壮年のメンバーを誘いましたか。  
あなたはモヤモヤ、うずうずしていますか。

#### WGの答申

ワーキンググループの答申 (2012年3月31日)

答申のポイントは4つ。

- ①研修したい
- ②総会を短く開催したい
- ③交わりを喜びたい

④議案書を簡潔にしたい



答申に賛成するか →N/Y

ポイントの深読み

①研修したい

本当は遊びたいのではないか  
研修内容がつまらないのではないか  
不勉強の者を教育したい（研修の目的は他者）

②総会を短く開催したい

聞くだけでストレスが溜まる  
何を話しているのか分からない（当事者意識を持ってない）  
夏休みなのでゆっくりしたい

③交わりを喜びたい

友だちがいない  
教会以外の人と話すのが苦手  
友だちになりたくない人が多い

④議案書を簡潔にしたい

何が書いてあるか分からない  
帰るときは身軽がいい  
議案書の厚さが時間と連動する（議題が多い）

研修と学び

全国から集まって、何を学んで帰るか。

学びの実態（頻度・内容・予定）

教会  
連合  
連盟  
壮年大会

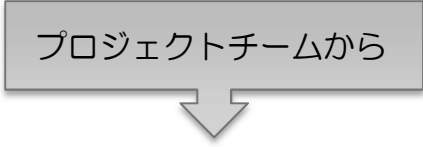
壮年大会のプログラム（内容）

「アピール」はアピールになっているのか（必要か・聞きたいか）

三神学校紹介のあり方（必要か・虚礼になっていないか）

会場をどこにするか(西南学院で開催する意義)

プロジェクトチームから



- ①日程の拡充と実行委員会の補強
- ②地方連合実行委員会の協力と連携
- ③大会プログラム工夫で多くの参加者を図る

## 分団D「奨学金制度の充実」のご案内

奨学金委員長 篠田 裕俊

栄光讃美

いつも神学生を覚えて祈り、支えてくださり感謝申し上げます。

私たちは、奨学金制度の充実を検討するにあたって、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」から答申された『今後の全国壮年会連合活動について』における奨学金制度運営に関する課題を確認することから始めました。また、奨学金制度の充実が伝道者の掘り起こしと養成につながることを願い、併せて、奨学金制度充実のためには、神学校献金の推進が必要あることも確認しました。

ここに、皆様へ奨学金制度の充実として次の通り提案いたします。ぜひ、一人でも多くの方に参加していただき、一緒に祈り考えて行きたいと思えます。

主に感謝して

奨学金制度充実のための提案

- 1 奨学金給貸与期間の弾力的運用について
- 2 連合立等神学校の神学生への図書援助費について
- 3 伝道者養成に従事する教員の後継者養成について
- 4 奨学金返還免除の見直し
- 5 卒業延期中における伝道の業の従事期間について



## 分団D「奨学金制度の充実」— 資料 —

## I. 奨学金について (2017 年度)

## 1. 1人当たりの年間奨学金

## (1) 1種奨学金 (貸与)

(単位: 円)

区 分	授業料	施設費	教育充実費	合 計
学部・専攻	750,000	170,000	40,000	960,000
大学院	576,000	130,000	0	706,000

## (2) 2種奨学金 (給付)

(単位: 円)

共 通			加 算	
単身者寮費	図書援助費	合 計	配偶者	子ども(1子当たり)
310,000	30,000	340,000	240,000	60,000

【参考】年間授業料の80%を貸与 (運用については、各神学校の規程による)

東京バプテスト神学校 160,000 円

九州バプテスト神学校 120,000 円

## 2. 卒業までの奨学金総額

(単位: 円)

区 分	1種(貸与)	2種(給付)	合計	2種加算(給付)	合計
専攻科	2,880,000	1,020,000	3,900,000	900,000	4,800,000
大学院	3,332,000	1,360,000	4,692,000	1,200,000	5,892,000

## 3. 返済額

(単位: 円)

最終学歴	貸与額	返済額
専攻科	2,880,000	576,000
大学院	3,332,000	666,400

※ 伝道者として4年以上務めた場合、貸与額の20%を10年間で返済

※ 伝道者期間が4年以内又は伝道者に従事しない場合、貸与全額を8年間で返済

Ⅱ. 2012年3月にWG『今後の全国壮年会連合活動について』における  
「伝道者養成のために資する奨学金制度運営の再構築」の課題

1. 職務の評価と課題の明確化

- (1) 制度面、実務面での評価
- (2) 今後取り組まなければならない課題の認識と連盟との共有化

2. 伝道者養成に資する制度とするための壮年会連合としての役割、責任の明確化

(1) 奨学金制度（体系）の再構築

- ①連盟における「奨学金委員会」の位置づけ  
連盟の機構図では、奨学金委員会は理事会と点線でつながっている。
- ②連盟における奨学金制度運営に関する諸規程の位置づけ  
規程は、理事会の意向を徴したうえで壮年会の総会で決定する。
- ③委託先である壮年会連合の参与の仕方

(2) 資金（神学校献金）管理範囲の明確化

- ①伝道者養成の業への効果的資金活用の仕組み検討  
本来の所管元である連盟が伝道者養成に資する基金（資金）として効果的に運用できるようにあるべき仕組みを検討する。

(3) 業務委託契約書の締結

- ①委託業務内容の明文化と締結
- ②本制度を伝道者養成の業として機能させるための連盟との棲み分け明確化
- ③壮年会連合の受託の範囲は“運営実務に徹する”との方向付けが基本

(4) 適正な委託料金の設定

- ①現行の「神学校献金額10%以内」の是非検討
- ②奨学金制度運営実務に特化した適正費用の算定

(5) 奨学金貸与範囲の検討

- ①連合立神学校も含め伝道者養成のため貸与範囲の拡大

### Ⅲ. 奨学金制度充実の提案についての補足説明

#### 1. 奨学金給貸与期間の弾力的運用について

現在の奨学金規程による奨学金の給貸与期間は、最長 4 年間、しかも、学部は 2 年間（2 年時編入の場合 3 年間）、専攻科は 1 年間、大学院は 2 年間と定められています。神学生は、神学部へ転編入する際に、出身大学等で取得した科目の認定が行われますが、その認定は個人差があります。そのために、科目認定が認められなかった科目は履修しないとなります。なぜなら、卒業までに履修すべき科目が決まっているからです。そのため科目履修に追われてしまって、神学の学びの時間が十分に取れない場合があります。

そこで、学部・専攻科・大学院での期間制限を撤廃し、奨学金給貸与期間を最長 4 年間とすることを提案いたします。

#### 2. 連合立等神学校の神学生への図書援助費について

2017 年度より西南学院大学神学生に対して、図書援助費 3 万円を給付することになりました。しかし、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校で学ぶ神学生に対しては、授業料の 8 割のみが貸与されるだけで、図書援助費の給付はありません。

図書援助費は、神学書等の多くが高価であることから、その支援を目的としたものです。東バプ、九バプの神学生も、西南大神学生と同じ献身者であることから、東バプ・九バプの神学生にも図書援助費を給付することを提案いたします。

ただし、西南学院大学神学生と金額を同額とするかは検討が必要だと考えています。

#### 3. 伝道者養成に従事する教員の後継者養成について

神学部教員の後継者養成は、神学部及び連盟において大きな課題となっています。全国壮年会連合の働きとして伝道者養成があり、このことに従事する神学部教員の後継者養成もその働きに含まれています。そこで、その働きのための奨学金の新設等を提案します。

#### 4. 奨学金返還免除の見直し

1 種奨学金は、卒業後 4 年以上伝道の業に従事したものは 8 割免除、それ以外は全額返済となっています。しかし、伝道者の業に従事した期間が 4 年未満であっても、伝道者の業に従事していることから、その期間に応じて免除することを提案します。

#### 5. 卒業延期中における伝道の業の従事期間について

現在の奨学金規程は、卒業後に伝道者の業に従事した期間のみが、奨学金免除の算定対象期間と定められています。そのために、在学中に伝道者の業に従事している期間（卒業延期のまま牧師等に赴任しているケースが多い）は、認められていません。

しかし、その期間も伝道者の業に従事していることから、奨学金免除の算定対象期間として取り扱うことを提案します。

ただし、卒業して伝道に従事した者と同じ取り扱いでよいかは、検討が必要だと考えています。

#### IV. その他（委員会では、次のことも協議を行いました）

##### 1. 中途退学者の取り扱いについて

多くの奨学金が貸与型から給付型に移行している中、神学生奨学金も給付型を目指すことはできないのか。また、召命感の喪失等、様々な事情で神学の学びを止めて退学したくても、奨学金返済を考え退学できないこともあり、奨学金返済について考慮できないか。

##### 2. 推薦教会へ赴任することについて

神学生は、神様からの召命を受け、全国の教会・伝道所に仕えるために神学部で学びます。私たちは、神学生献金によって、神学生の学びと生活を支援しています。そのために、最初から推薦教会で仕えることは、神学生献金の趣旨に反するのではないか。

##### 3. 協力牧師の取り扱いについて

現在、協力牧師の期間は原則として、奨学金免除算定期間として認められていません。しかし、協力牧師も伝道者の業に従事しており、奨学金免除算定期間として認めても良いのではないか。

##### 4. 財政基盤が弱い推薦教会の負担軽減について

多くの教会が、連盟が定めている牧師給を給付できていない現実があります。そのため、奨学金返済を考えて本人及び推薦教会が召命にたいして躊躇することがあるのではないか。そこで、例えば極端に低い牧師給の場合は、奨学金の返済額の軽減、返済期間の延長等を検討できないか。

##### 5. 奨学金給貸与条件の見直し

神学生は卒業後 10 年かけて奨学金を返済しています。そのために、高齢者に対して奨学金を貸与することは、推薦教会及び本人に負担を課すことにもなるのではないか。そこで、例えば、奨学金対象年齢を設けるなども検討してはどうか。

##### 6. 女性連合奨学金について

女性連合には、女性神学生を対象とした年間 24 万の奨学金制度があります。ジェンダーが問われているなか、女性神学生だけを対象としてよいのか。また、女性連合奨学金制度を参考に制度の充実・改善できるものがあるのではないか。

##### 7. 事務局体制の充実と事務負担の見直しについて

現在、壮年会連合事務として非常勤 1 名が勤務し、壮年会連合、奨学金事務を担当しています。しかし、その負担は大きく、増員や業務内容の見直し等を行うべきではないか。特に奨学金事務を見直すことで、事務負担を軽減できるのではないか。

#### V. 今後の進め方

2017 年度	奨学金制度充実の提言についての意見交換
2018 年度	具体的な案について協議し、それぞれについて賛否を問う
2019 年度	賛同された案を反映した規程の改正案について審議
2020 年度	改正規程による奨学金制度の運用と継続事項についての検討

## 分団 E

### 「神学校献金（神学生奨学金献金）」の推進

神学校献金推進委員

「地方壮年連合内での神学校献金推進委員の働きを共有し、  
いかに壮年は神学校献金（神学生奨学金献金）推進に取り組むのか」

- 資料 ・「神学校週間のしおり（神学校週間によせて）」  
・「神学校献金推進のための三つ折りパンフレット」

わたしたちバプテストの群れは、一人でも多くの牧師や伝道師、教会主事や音楽主事などの献身者が起こされるように、また、現在学びの中にある神学生たちが神学校（西南学院大学神学部学生、東京バプテスト神学校専攻科、九州バプテスト神学校牧師コース）において十分な研鑽が積むことが出来るようにと、覚えて祈っています。具体的には神学校献金（神学生奨学金献金）を全国に呼びかけています。

この活動の主な担い手である壮年の働きは、全国壮年会連合における活動方針の大きな柱である「伝道者養成への参与」、さらに「教会形成を担う壮年の働きの推進」そのものと言えます。だが、その取組にはいくつかの課題もあります。

教役者が足りない現状を前にして、わたしたちは、西南神学生の奨学金貸与者が毎年 25 名以上になるように献身者を送り出すという働きのために、神学校献金（神学生奨学金献金）目標額を 3 千万円に設定しています。しかしながら、2,005 年に目標額を 3 千万円として以来、2005 年の 2,498 万円をピークに未だその目標額は達成していないという現実があります。さらに、全国の地方壮年連合内に立てられた神学校献金推進委員の働きが、多くの教会、伝道所に十分に知られていない、あるいは理解されていないのではないかという現実もあります。

他にも課題があると思いますが、分団では、わたしたち一人ひとりが神学校献金推進委員の働きを覚え、その働きに積極的に関わり、共働するにはどうしたらよいか、おおいに意見を出し合い、互いの思いを共有したいと思います。

また、未だ目標額を達成できない痛みを共有しながら、目標額に近づく道を探ってみたいと思います。

## 【参考資料】

### ワーキング・グループによる答申書『今後の全国壮年会連合活動について』の取り組み

- ◇ 答申書受理日：2012年3月1日
- ◇ 答申者：2010～11年度役員会からの委嘱によるワーキング・グループ（以下WG）  
構成メンバー：渡邊 亶（恵泉・長）、久場俊男（恵泉）、野口正俊（志村）、豊永義典（川崎）  
陪席：田矢廣司（堺・当時事務局長）、大城戸一彦（西川口・当時奨学金委員長）
- ※ 2012年4月から2017年8月までの＜取り組み＞について、第52回全国壮年会における「壮年の課題共有の時間」のための参考資料として添付します。

## II. 壮年会活動の二本柱

### 1. 伝道者養成について ～ 神学校（奨学金）献金という切り口でなく、伝道者養成の視点から

#### <提 案>

いま壮年会連合は「伝道者・後継者養成」のため、全国の壮年が思いを共有し、働きを協働できるよう、その方向を具体的に示すべきである。そのためにも先ず、壮年会連合が自ら、各地方壮年会連合がそれぞれに取り組む、修養会、研修会、その他の学びや、交わりの場に積極的に協力、参加することが必要であるとする。各地方壮年会連合との情報の共有と様々な活動への協力を積極的に進めること。

#### <取り組み>

- 壮年会連合ニュースにおいて、生き生きと地域で活躍する壮年（会）の証しを積極的に掲載し、紹介してきた。
  - 2014年度から壮年会連合ニュースに、例会等の学びに供するために、伝道者養成の視点で特集記事を掲載している。（2014年度は吉高常務理事に執筆を依頼。2015年度は松見享子宣教研究所員に依頼する）
  - 2013年度から地方連合の交流を深めて、壮年同士が互いに刺激し合い成長することを意図し、二つ以上の地方連合壮年会が合同で行う行事を奨励し、資金面の支援を行ってきた。
  - 情報共有化のツールとしてホームページのリニューアルを行い、必要情報を掲載した。
  - 役員会情報の発信のため、壮年会連合ニュースにて、会議報告等を掲載してきた。
- 分団「献身者を生み出す教会」及び「新任牧師と協働する教会」で課題を共有願いたい。

### 2. 教会形成を担う壮年

#### <提 案>

#### 1) 壮年の成長に寄与する研修会の拡充

従来から、各連合、連盟宣教部、宣教研究所による研修会が各種行われている。

さらに壮年会連合による研修会が考えられる、1つの提言としては壮年会を隔年ごとに2泊3日にし、そこで各種の研修を行う。

#### 2) 壮年のスキルの活用

壮年は各種の分野で、色々と活躍しており、その能力を各教会で生かすべく、人材バンクとして登録して貰い、その運営を通して壮年会連合がその橋渡しを行う。

#### <取り組み>

- 全国壮年会の日程を、首都圏及び福岡での大会は2泊3日で行うべく努力したが、主として実行委員会の諸事情により実行できなかった。（第52回は2泊3日で開催）  
➤ 分団「全国大会の開催方法」（壮年会をデザインする）で課題を共有願いたい。
- 壮年のスキルの活用について、まず、壮年会連合ニュース（第72号から第80号）の紙面で、定年後に社会とのかかわりを持ち、生き生きと活躍する壮年の紹介記事を掲載した。  
➤ 分団「献身者を生み出す教会」及び「新任牧師と協働する教会」における具体的な方策として課題を共有願いたい。

### Ⅲ. 組織・財政に関する提案

#### 1. 全国壮年大会・総会、全国代表者会議、神学校献金推進委員会、奨学金委員会

##### 1) 総会の持ち方 (含む、全国壮年大会)

###### <提 案>

- **天城山荘での2泊3日と地方での1泊2日を隔年で実施する。役員の任期は2年であり、2年間をひとくりにして計画を考えたらどうだろうか。**  
**即ち、地方で開催する場合は、総会の時間を出来るだけ短くするよう工夫し、その他のプログラムで学びや交わりを喜ぶ時間を確保する。**
- **議案書を簡潔なものにする。**

###### <取り組み>

- 首都圏及び福岡壮年会が隔年で担当する大会について2泊3日となることが望ましいが、主として実行委員会の諸事情により実施できなかった。  
➢ 分団「全国大会の開催方法」(壮年大会をデザインする)で課題を共有願いたい。
- 議案書(大会資料と報告書)については、作成コスト(労力)の軽減を狙い、ページ数の削減、ネットによる業者への一括製本発注とした。(従前は事務局が印刷し、業者に製本を依頼していたが、単価的に遜色がないため、現方法に切り替えた)

##### 2) 全国代表者会議の権限強化、位置付けの改善

###### <提 案>

- **総会提出議案を精査して総会に諮るための機関として位置付ける。**
- **代表者会議は、最低1泊2日とし、総会議案だけではなく、壮年の課題について討議する場とする。**

###### <取り組み>

- 代表者会議は、全国壮年会連合役員会に総会議案に対して諮問することを中心に機能してきたが、限定的な決裁権限をも有しない会議であった。よって、代表者会議を総会との関連において、限定的ではあるが役員会と実行責任を共有できるような位置づけに改め、メンバーの参画意識と意義を高めたい。  
また、全国大会時に開催する総会での審議を限られた時間の中で、より重要性の高い議題に多く時間を配分するなど、メリハリのついた運営に資するように代表者会議が総会の一部機能の代行を担うこととしたい。  
特に報告事項は、十分な時間(1泊2日)をかけて代表者会議において精査し総会に報告することとし、より精度の高い報告として壮年の皆様からの信頼を得て以降の施策に反映することができるようにしたい。  
以上を踏まえて、2018年度(トライアル)より代表者会議の日程と運営を変更したい。

##### 3) 神学校献金推進委員会の曖昧さ

###### <提 案>

- **全国レベルでの神学校献金推進委員会の組織化はしない。神学校献金の推進は壮年会の活動の柱であり、各地方連合の会長を中心に、代表者会議のなかで必要な情報交換は行なう。全国代表者会議への地方連合からの派遣は原則1名となる。なお、地方連合レベルでは、神学校献金の推進のために、会長とは独立に選出しても構わない。**

###### <取り組み>

- 神学校献金推進委員は地方連合の壮年会のもとで、神学校献金(神学生奨学金献金)推進活動を担っていただく位置づけにあると理解している。しかし、本活動について情報の共有化が必要であるので、全国大会に合わせて役員会(副会長)が招集し「神学校献金推進委員会」を開催している。また、大会で「神学校献金(奨学金献金)」の推進をアピールする時間を大会実行委員会に求めている。  
今後も役員会と課題を共有し、協力していくために規則細則の改定を目指す。

#### 4) 伝道者養成のために資する奨学金制度運営の再構築

##### <提 案>

##### ① 職務の評価と課題の明確化

- 制度面、実務面での評価
- 今後取り組まなければならない課題の認識と連盟との共有化

##### ② 伝道者養成に資する制度とするための壮年会連合としての役割、責任の明確化

上記①を受けて、連盟と壮年会連合の責任区分（棲み分け）の明確化を軸に課題解決を図りたい。以下にWGにて抽出した課題と方向性を示す。

##### (ア) 奨学金制度（体系）の再構築

- 連盟における「奨学金委員会」の位置づけ
- 連盟における奨学金制度運営に関する諸規程の位置づけ
- 委託先である壮年会連合の参与の仕方

##### (イ) 資金（神学校献金）管理範囲の明確化

- 伝道者養成の業への効果的資金活用の仕組み検討  
現行の「西南学院神学部学生奨学金」に特化した資金として壮年会連合口座に留保している実態をあらため、本来の所管元である連盟が伝道者養成に資する基金（資金）として効果的に運用できるようにあるべき仕組みを検討する。

##### (ウ) 業務委託契約書の締結

- 委託業務内容の明文化と締結
- 本制度が伝道者養成の業として機能させるための連盟との棲み分け明確化
- 壮年会連合の受託の範囲は「運営実務に徹する、との方向付けが基本

##### (エ) 適正な委託料金の設定

- 現行の「神学校献金額10%以内」の是非検討
- 奨学金制度運営実務に特化した適正費用の算定  
(ア) の方向付けによる。

##### (オ) 奨学金貸与範囲の検討

- 連合立神学校も含め伝道者養成のため貸与範囲の拡大  
本件は連盟理事会にて検討に着手した段階であるが、実務部門として陪席し、積極的に意見を述べる機会が与えられるよう申し入れる。

##### <取り組み>

##### ① 制度の評価と課題の明確化

- まず、2001年からの委員会の活動を整理し、今後の委員会運営に役立てるように取り組みたい。

##### ② 伝道者養成に資する制度とするための壮年会連合としての役割、責任の明確化

- (ア) 連盟では、理事会委嘱の特別委員会として明確に位置づけられ、その理事会への報告は理事会派遣委員である「奨学金制度担当理事」が行うこととなった。今後も、受託の基本である「自立的に担う、との壮年の意欲が損なわれることのないようにしていく。
- (イ) もともとの会計制度は「奨学金会計」1本であったが、「神学校献金会計」と「奨学金会計」に分離し、状況を把握しやすいように変更した。前者は壮年会連合に資金の管理を委託している理事会が資金状況をクリアーに把握できることを主眼としている。当然のことながら、管理上の課題については、壮年会連合として意見を述べ、参与していく。
- (ウ) 前記(ア)の通り、職務についての理事会の認識が高まったことにより、作業内容を明示した業務委託契約書の締結は行っていない。現行は「奨学金規程」について理事会の認識のもとで運営している。
- (エ) 当面、現規程による委託料金に相当する（前年度の）神学校献金10%以内で運営を行っているが、極力削減する方向での努力は続ける。
- (オ) 連合立等神学校奨学金制度への資金の提供は2013年度より実現した。

- 分団「奨学金制度の充実」で課題を共有願いたい。更なる充実に向けて検討していきたい。



## 2. 全国壮年会連合役員会及び事務局、地方連合壮年会、各教会・伝道所の壮年会

### 1) 役員会のあり方

#### <提 案>

- 役員会の審議内容の公開
- 役員会のメンバーは監査を1名として6名体制とする。監査は役員会に陪席することを規約にも明記する。
- 役員任期に関しては、会長以外は任期2年で2期までとなっているが、会長だけは再任に関する規定がない。会長も再任の回数を規定すべきである。
- 事務局長の常勤化。

#### <取り組み>

- 役員会及び奨学金委員会の審議内容は、壮年会連合ニュースに掲載している。

#### <今後の課題>

- 監査を1名とした場合、財務監査を中心に行うこととなろうが、その可否も含め、2016年・2017年度監査に意向を伝え検討してきた。監査としての責任の問題もあり業務監査と意見具申の機能を考慮した場合、2名体制が妥当であるとの結論を得た。
- マンネリによる多選は論外であるが、会長の再任に制限を加えることが合理的なこととは思わない。選挙する側の意思決定の問題でもあるので慎重に検討する必要がある。
- 事務局長の常勤化については、まず財政上の問題をクリアーにする必要がある。事務局員との業務の棲み分け、無給あるいは日当程度で重い責任を担いモチベーション高く職務が遂行できるのか、形は作れるが壮年会連合の体制の中で形骸化・人事の固定化を防ぐ自浄力が見出せるのか等、課題は大きい。現時点ではむしろ実務に徹する事務局員のフルタイムでの就労が喫緊の課題である。

### 2) 事務局体制

#### <提 案>

- 事務局業務の一日の稼働時間の見直しと効率化

#### <取り組み>

- 2012年度から、全国からの問い合わせ等に対応するため、稼働時間を10:00～16:00に変更した。但し、人件費と個人都合の制約から、月・水・金：1名の稼働である。合わせて、労働契約書を締結し、職務体制を明確にした。
- 経理について壮年会連合の実態に合ったアプリケーションを作成し、効率化を図った。

#### <今後の課題>

- 総仕事量から見て、事務局員1名では処理能力を超えており、役員・奨学金委員が無報酬で事務実務をカバーしている実態にある。

## 3. 財政上の課題

### 1) 会費一値上げでなく、納入者の範囲拡大策、広報の強化

#### ① 二会計における負担経費の明確化

##### <提 案>

(奨学金規程による神学校献金会計からの制度運営費用の適正化評価のため：役員会注)、早急に一般会計、奨学金会計の経費の線引きを行う事を提言する。明確に線引きできない経費については、適正な配賦基準を設け、それぞれの会計に按分計上する。また、奨学金会計報告、奨学金会計予算においては、算定された経費をそれぞれに計上し、それぞれの収支を明確化する。

#### ② 上限10%という経費負担の見直し

##### <提 案>

会計の明確化により、精査し、必要であれば経費負担率の見直しを検討すべきである。

### ③ 会費収入の現状

#### <提 案>

**会費納入率を上げ、会費収入の増加を図るため広報活動の強化充実を行う。**

#### <取り組み>

- ② 経費負担率の見直しは慎重に考えている。まず、各教会壮年のうちから納入者を増やすことが先決であり、各地方連合の実態について壮年会連合ニュースなどでアピールを続けている。
- ③ 壮年会連合ニュース等で役員会・奨学金委員会の活動をPRしている。連盟宣教部、女性連合が主催している研修会に壮年会員を派遣するなど、目に見える形で参与することに心掛けている。

## 4. その他

### 1) 連盟理事会との協働関係の強化（確立）

#### <提 案>

- **奨学金制度の運営に関する協議を速やかに開始し、それを切り口に将来的に定期的な二者協議の場に進展させていく。**
- **伝道者養成について、理事会との積極的な意見交換のもとで、壮年会連合の活動の重要な柱として施策展開ができるように具体化を図る。**

#### <取り組み>

- 奨学金制度における二者協議については、連盟理事会派遣理事が奨学金委員となっており、二者協議としての体は取られている。
- 連盟が取り組むプロジェクト（連合立神学校奨学金制度、伝道者養成に関する案件等）には、会長が参与しており、連盟との協働は図られていると判断している。
- 連盟宣教部、宣教研究所、女性連合が主催・共催する伝道者養成の研修企画と運営について、2014年度から壮年会連合も参与している。

以 上